

コミッショナー研修所

所員用ハンドブック

2019年度版



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

目 次

コミッショナー研修所日程表	1
コミッショナー研修所セッションの目標・指導上のねらい	2
「課題研修」課題	4
開所式プログラム	5
セッション	
§ 1 コミッショナー研修所について	8
§ 2 組織について	10
§ 3 コミッショナーについて	12
§ 4 コミッショナーの活動	14
§ 5 団と隊	16
§ 6 コミッショナーの活動と評価	18
§ 7 コミッショナーに求められる資質	20
閉所式プログラム	22
ハンドアウト・ワークシート	
§ 1 コミッショナー研修所の目的と目標	26
§ 2 各種コミッショナーと組織の関連	26
§ 3 各種コミッショナーの任務・業務等の概要	27
§ 4 ハンドアウト①各種書式	27
§ 4 ハンドアウト②コミッショナーの業務の流れ	28
§ 5 課題資料：団・隊の概要（武庫川第99団）	28
§ 5 ワークシート	29
§ 6 情報収集のための各資料の作成方法等	29
§ 6 グループ作業の進め方	30
§ 6 ワークシート①「問題点の抽出」	31
§ 6 ワークシート②「原因と思われる事項と解決への糸口」	31
§ 6 ワークシート③「解決策の策定その1」	32
§ 6 ワークシート④「解決策の策定その2」	32
§ 7 ワークシート「課題記入用紙」	33

§ 6 イントレイ・エクササイズ資料

武庫川地区の概要	36
武庫川第2団の情報	38
武庫川第2団 指導者台帳	38
団審査チェック表（武庫川第2団）	39
団審査チェック表評価表（武庫川第2団）	40
BS隊年間プログラム（武庫川第2団）	41
武庫川第9団の情報	41
武庫川第9団 指導者台帳	42
団審査チェック表（武庫川第9団）	42
団審査チェック表評価表（武庫川第9団）	44
BS隊年間プログラム（武庫川第9団）	44
武庫川第16団の情報	45
武庫川第16団 指導者台帳	45
団審査チェック表（武庫川第9団）	46
団審査チェック表評価表（武庫川第9団）	47
BS隊年間プログラム（武庫川第16団）	48
水道橋地区の概要	48
水道橋第1団、2団、3団 指導者台帳	50
水道橋第3団 BS隊年間プログラム	50
水道橋第1団 登録状況の推移	51
水道橋第2団、3団 登録状況の推移	52
都祁地区の概要	53
都祁第1団、2団、3団 指導者台帳	54
都祁第3団 カブスカウト隊年間プログラム	55
都祁第3団 ボーイスカウト隊年間プログラム	55
都祁第3団 登録状況の推移	56
都祁第3団 団審査申込書（当年、前年）	56

コミッションナー研修所日程表

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			
第 1 日				集合完了 受付編成 自主点検	開 所 式	§ 1 コミッションナー 研修所 について	グループ タイム (昼食)	§ 2 組織について	休 憩	§ 3 コミッションナー について	休 憩	§ 4 コミッションナー の活動	夕 食	§ 5 団と隊	今 日 の 話 題			
					30	60	60	90	15	75	15	105	60	120	30			
第 2 日	起床 洗面・清掃 朝食・自主点検		朝 礼				§ 6 コミッションナーの活動と評価 (正午に昼食を支給、適宜休憩をとる)									夕 食	今 日 の 話 題	
	120		30				570 (含: 昼食および休憩時間)									90	60	30
第 3 日	起床 洗面・清掃 朝食・自主点検		朝 礼				§ 7 コミッションナーに 求められる資質	質 疑 応 答	閉 所 式	解 散								
	120		30				120	30	60									

コミッショナー研修所セッションの目標・指導上のねらい

セッション名	目 標	指導上のねらい
1. コミッショナー研修所について (60分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミッショナー研修所の目的と目標を理解する。 2. コミッショナー研修所における各セッションの関連について理解する。 3. コミッショナー研修所の進め方を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミッショナー研修所の目的と目標を確認し、参加意識を高める。 2. コミッショナー研修所における各セッションの関連について理解させる。 3. コミッショナー研修所の進め方を理解させ、不安を取り除くとともに参加意識を高め、研修期間を通しての積極的な参加を促す。 4. 学習環境と活用できるリソースを知らせる。
2. 組織について (90分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地区、県連盟の組織と機能を理解する。 2. 各種コミッショナーの組織における位置付けと選任について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地区及び県連盟の組織的な運営が、スカウト運動の推進の重要な機能（役割）を果たすことを理解させる。 2. 地区及び県連盟の各組織について、それぞれ設置と構成、目的が明確に規定されていることを理解させる。 3. 地区及び県連盟の組織の中で、各種コミッショナーは特に教育面、指導面を推進することを理解させる。 4. 各種コミッショナーの選任基準、選任・委嘱の手続きを知ることにより、コミッショナーに求められる資質や責任ある立場であることを理解させる。
3. コミッショナーについて (75分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種コミッショナーの任務を理解する。 2. 各種コミッショナーの業務の概要を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種コミッショナーの任務を果たす重要性や、コミッショナーは実動を伴うものであり、名誉職ではないことを確認させる。 2. 各種コミッショナーの業務は多岐にわたり、かつ継続した活動が必要であることを理解させる。 3. コミッショナーの役務とトレーナーの役務の違いについて理解させる。
4. コミッショナーの活動 (105分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種コミッショナーの日常業務について認識する。 2. 各種コミッショナーの日常業務の進め方について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種コミッショナーの日常業務（日常の活動）にはどのようなものがあるかを団担当コミッショナー、地区（副）コミッショナー、県連盟（副）コミッショナーの関連、組織との関連を示しながら全体像を理解させる。 2. 現状把握から施策的評価までの流れと業務について理解させる。 3. 個々の指導者に必要とされる研修の提供とそのタイミング、研修前・後の支援の必要性について理解させる。
5. 団と隊 (120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団、隊の組織と機能を説明できる。 2. 団・隊運営の問題点を抽出できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミッショナーとして団委員会の役割と機能を明確に理解させ、支援を行う場合にわかりやすく説明できるようにする。 2. コミッショナーとして隊指導者（特に隊長）の役割を明確に理解させ、支援を行う場合にわかりやすく説明できるようにする。 3. 団と隊の関連（団委員会は隊活動への支援をすることが主たる役割であること等）についてわかりやすく説明できるようにする。 4. 団はスカウト教育を実施する身近で有効な組織であることを理解させる。 5. 隊は、スカウトに直接関わり、指導できる身近で最小の組織（単位）であることを理解させる。 6. 育成会は団を有形・無形で支える有力な助っ人であり、いろいろな方法で支援を受けられるように努力する必要があることを理解させる。 7. 団、隊の組織と機能を理解することで、支援するための基本的情報となる団・隊運営の問題点を抽出できるようにする。

セッション名	目 標	指導上のねらい
<p>6. コミッショナーの活動と評価 (570分)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団運営に対する支援ができる。 2. 隊運営に対する支援ができる。 3. 日常業務を進める上で必要なコミッショナー間の連携ができる。 4. 日常業務を進める上で必要な組織との連携ができる。 5. 各種コミッショナーの活動計画の立案と評価ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現実に近い形で演習を行うことにより、コミッショナー相互の協力体制、組織との連携が必要であることを理解させる。 2. 隊、団への支援策にはさまざまな形態や手法があり、コミッショナーはそれらを効果的に活用し隊、団への支援を行うことを理解させる。 3. コミッショナーの活動は隊、団の現状を把握することから始まることを理解させる。 4. 隊・団への支援において、指導者の確保、養成に関わるが多くかつ重要であることを理解させる。 5. 定型訓練の訓練目標や内容を理解し、訓練・研修のニーズが満たされるかどうか判断できなければならないことを理解させる。 6. 活動計画の立案に当たっては、コミッショナーグループ内での計画内容の評価が重要であり、相互評価ができるようにする。
<p>7. コミッショナーに求められる資質 (120分)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 任務を果たす上で必要な知識、技能、態度を知る。 2. 任務を果たす上で自己に不足する知識、技能、態度を身につけるための自己研修計画を立案できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本コースのセッションを通じて自己に不足する知識、技能、態度について検討することにより、今後の自己研修意欲を高める。 2. コミッショナーに求められる知識、技能、態度はスカウティングを遂行するに必要な基本的な知識、技能、態度とコミッショナー特有の知識、技能、態度があることを理解させる。 3. 自己研修計画を作成し、よりよいコミッショナーに向けての目標設定を行ない、実践ができるようにさせる。

コミッショナー研修所「課題研修」

課 題

課題1.

日本連盟教育規程にあるコミッショナー関連の項目を読んで理解し、指導を受けた内容を記述してください。

課題2.

下記の書籍を熟読し、指導を受けた内容を記述してください。

- ① コミッショナーハンドブック
- ② 団の運営と団委員会
- ③ ボーイスカウト隊リーダーハンドブック
- ④ ボーイスカウト日本連盟の指導者養成体制

課題3.

あなたの担当する団、あるいは地区、県連盟における現状を把握し、問題点を列挙してください。(現在コミッショナーでない場合は、自団の問題点について)

課題4.

コミッショナー活動において重点的な取り組み中の課題、及び取り組み予定の課題を列挙してください。なお、「取り組み中」「取り組み予定」が分かるように整理してください。(現在コミッショナーでない場合は、県連盟、自地区のコミッショナー活動の重点的な課題について)

なお、この「課題研修」の履修認定者は、日本連盟リーダートレーナーです。

開所式プログラム

(30分)

1. 開式のことば
2. 国旗儀礼（国旗掲揚）
3. 国歌斉唱
4. 主催者挨拶、所長紹介
5. 所長挨拶
6. 所員紹介
7. 来賓挨拶
8. 来賓紹介
9. 連盟歌斉唱
10. 閉式のことば

ねらい

- ・ 参加者に本コースへの積極的参加を再確認させ、学習意欲を高める場とする。

留意点

- ・ コミッショナー研修所を始めるのに相応しい場所を選定する。
- ・ 参加者に、研修に対する意欲と安心感を持たせるよう、挨拶や雰囲気づくりに留意する。

準備品

- ・ 国旗一式
- ・ 開所式式次第
- ・ 参加者、来賓、スタッフ等名簿

セッションの運営

<注意>

資料の事前送付はしないでください。

§ 1 コミッショナー研修所について

第1日 11時00分～12時00分(60分間)

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. コミッショナー研修所の目的と目標を理解する。
2. コミッショナー研修所における各セッションの関連について理解する。
3. コミッショナー研修所の進め方を理解する。

指導上のねらい

1. コミッショナー研修所の目的と目標を確認し、参加意識を高める。
2. コミッショナー研修所における各セッションの関連について理解させる。
3. コミッショナー研修所の進め方を理解させ、不安を取り除くとともに参加意識を高め、研修期間を通しての積極的な参加を促す。
4. 学習環境と活用できるリソースを知らせる。

スタッフの仕事（依頼事項）

グループタイムの活用により、チームビルドを図る

準備品（資材・資料）

- ・ハンドアウト「コミッショナー研修所の目的と目標」（P.26 参照）
- ・会場案内図
- ・オリエンテーションノート

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望

- ・当コースの進め方の基本となるセッションであるため、所長が担当し、所員全員が参加する。
- ・大半の参加者がコース参加に緊張を持っており、コースの内容と展開に不安を持っているので、その緊張と不安が安らぐように講義の進め方や内容について工夫する。
- ・当コースの理解が修了後もその確認を容易にするために教育規程の該当項目、「コミッショナーハンドブック」の記載部分を紹介しながらセッションを進めることに努める。

- (1) 歓迎のことば
- (2) スタッフ紹介

2. 訓練目標を達成するために伝えること・実施すること

(1) 目的と目標

- ・本コースの目的及び目標について説明する。
- ・本コースのセッションの概要及び関連性について説明する。
- ・グループの編成、チューターの配置など、本コースの運営方法について説明する。
- ・目標達成のためには、参加者の積極的な取り組み姿勢が必要であることを説明する。

(2) オリエンテーション

- ・グループごとにチューターにより、オリエンテーションを行う。
- ・オリエンテーションとして伝えなければならないことは、予めノートを作成して、簡潔に説明する。

3. セッションのまとめと確認事項

まとめは行わない。

《 グループタイム 》 12時00分～13時00分

- ・セッション終了後、グループタイムに移行する。
- ・昼食を配布し、昼食を食べながらグループタイムを進める。

(グループタイムのねらい)

- ・グループ内の仲間を知り、チームビルドの向上を図る。
- ・事前に提出している課題や研修ニーズを各自で再確認する。また、参加者の研修ニーズが本コースの目的・目標に合わず、本コースの中で満足させられない場合がある事を知らせる。
- ・グループ内の他の参加者の課題・研修ニーズを知る。

§ 2 組織について

第1日 13時00分～14時30分(90分間)

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 地区、県連盟の組織と機能を理解する。
2. 各種コミッショナーの組織における位置付けと選任について理解する。

指導上のねらい

1. 地区及び県連盟の組織的な運営が、スカウト運動の推進の重要な機能（役割）を果たすことを理解させる。
2. 地区及び県連盟の各組織について、それぞれ設置と構成、目的が明確に規定されていることを理解させる。
3. 地区及び県連盟の組織の中で、各種コミッショナーは特に教育面、指導面を推進することを理解させる。
4. 各種コミッショナーの選任基準、選任・委嘱の手続きを知ることにより、コミッショナーに求められる資質や責任ある立場であることを理解させる。

スタッフの仕事（依頼事項）

準備品(資材・資料)

- ・日本連盟規程集
- ・ハンドアウト「各種コミッショナーと組織の関連」(P.26 参照)

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望

- (1) スカウト運動の推進のためには、地区及び県連盟の運営が重要である。
- (2) 地区及び県連盟の運営の要として、各種コミッショナーの適切で効果的な活動が求められている。
- (3) 各種コミッショナーは、教育面、指導面を適正に推進していく中心的な役割を担うことから、一定の基準・要件を考慮して選任・委嘱されている。

2. 訓練目標を達成するために伝えること・実施すること

- (1) 地区、県連盟の組織概要について
 - ・スカウト教育の運営上の単位である団の支援
 - ・地区役員、県連盟役員の任務と取り組む姿勢・心構え
- (2) 県連盟組織について
 - ① 県連盟の組織
 - ・設置・構成及び設置の目的（教育規程4-1、4-2）
 - ・県連盟理事会の構成と機能（教育規程4-4）
 - ・県連盟内コミッショナー会議（教育規程4-5）
 - ・各種運営委員会の構成と機能（教育規程4-7）
 - ・県連盟事務局の業務（教育規程4-14、4-15）
 - ② 県連盟の運営
 - ・資金（教育規程4-16）
 - ・意思決定機関・・・年次総会、理事会他（教育規程4-3、4-4）
 - ・各組織の構成員（教育規程4-9～4-13、4-15、4-19）
 - ・事業計画と事業実施

(3) 地区組織について

①地区の組織

- ・地区の設置・・・県連盟理事会が設置する
- ・地区協議会の構成と機能
- ・地区委員会の構成と機能
- ・各種運営委員会の構成と機能
- ・地区事務長、会計の業務
- ・県連盟との関連

②地区の運営

- ・資金
- ・意思決定機関・・・地区協議会、地区委員会
- ・事業計画と事業実施

(4) 県連盟コミッショナー、地区コミッショナー、団担当コミッショナーと組織の関連

- ・各種コミッショナー間の縦のつながり
- ・各種コミッショナーと県連盟、地区との横のつながり
(資料「各種コミッショナーと組織の関連」参照)

(5) 県連盟コミッショナー、地区コミッショナーの選任と委嘱

①県連盟(副)コミッショナー (教育規程4-19、4-20)

- ・選任・委嘱の手続き
- ・任期
- ・推薦条件(資質、研修歴)

②地区(副)コミッショナー (教育規程5-8、5-9)

(県連盟コミッショナーに同じ)

③団担当コミッショナー (教育規程4-21)

(県連盟コミッショナーに同じ)

3. セッションのまとめと確認事項

- (1) 地区、県連盟は加盟団へのサービス、支援をする機関である。加盟団は、そのサービスを享受すると共に、団の存続に維持・発展など果たすべき義務も発生する。
- (2) コミッショナーは、スカウト運動の組織の中において教育面、指導面に関する責任を負う重要な役務をもつ。

§ 3 コミッショナーについて

第1日 14時45分～16時00分(75分間)

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 各種コミッショナーの任務を理解する。
2. 各種コミッショナーの業務の概要を理解する。

指導上のねらい

1. 各種コミッショナーの任務を果たす重要性や、コミッショナーは実動を伴うものであり、名誉職ではないことを確認させる。
2. 各種コミッショナーの業務は多岐にわたり、かつ継続した活動が必要であることを理解させる。
3. コミッショナーの役務とトレーナーの役務の違いについて理解させる。

スタッフの仕事（依頼事項）

準備品(資材・資料)

- ・ハンドアウト「各種コミッショナーの任務・業務等の概要」(P.27 参照)

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望

- (1) コミッショナーの任務について理解を深めてもらう。
- (2) コミッショナーの業務の概要について理解してもらう。

2. 訓練目標を達成するために伝えること・実施すること

- (1) コミッショナーとは
 - ① 隊への巡回指導の歴史的経緯
 - ② 団、隊への支援の重要性とコミッショナーに求められる役割
- (2) 各種コミッショナーの任務 (教育規程4-19、4-21、5-8)
 - ・ 隊・団の充実に向けた「基本」と「実際」を踏まえた支援
 - ・ 目的、原理、方法といった普遍的なものの周知・普及と、これらに則した適正な判断を行うこと(本運動の「守り手」)
 - ・ 教育プログラムとそれを支援する成人に関する調整、実施、推進(本運動の「担い手」)
 - ・ 本運動の「守り手」「担い手」となって直接的、間接的に隊・団への支援
 - ・ コミッショナーとトレーナーの関連性について具体的に説明
(兼務する場合の留意すべき点)
- (3) 各種コミッショナーの業務の概要
 - ・ 資料「各種コミッショナーの任務・業務等の概要」を活用しながら説明
 - ・ 青少年のプログラムに関すること
 - ・ アダルトリソースに関すること
 - ・ 組織及びコミュニケーションに関すること
 - ・ 地区コミッショナー、団・隊の指導・助言・援助に関すること
 - ・ 県連盟名誉会議を主宰すること(県連盟コミッショナー)

3. セッションのまとめと確認事項

- (1) 各種コミッショナーにより任務内容は多少異なるが、スカウト教育の純正な推進を図る要であるといった基本的な任務に変わりはない。
- (2) すべてのコミッショナーの活動は、最終的に団、隊の機能向上に向けられたものである。
- (3) 各種コミッショナーの業務を適切に遂行すれば、当該担当の団・隊、地区、県連盟のスカウト教育の成果は必ず向上する。

§ 4 コミッショナーの活動

第1日 16:15～18:00 (105分)

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 各種コミッショナーの日常業務について認識する。
2. 各種コミッショナーの日常業務の進め方について理解する

指導上のねらい

1. 各種コミッショナーの日常業務（日常の活動）にはどのようなものがあるかを団担当コミッショナー、地区（副）コミッショナー、県連盟（副）コミッショナーの関連、組織との関連を示しながら全体像を理解させる。
2. 現状把握から施策的評価までの流れと業務について理解させる。
3. 個々の指導者に必要とされる研修の提供とそのタイミング、研修前・後の支援の必要性について理解させる。

スタッフの仕事

準備品(資材・資料)

- ・ハンドアウト①「各種書式」(P.27 参照)
- ・ハンドアウト②「コミッショナー業務の流れ(概要)」(P.28 参照)
- ・§2 ハンドアウト「各種コミッショナーと組織の関連」(P.26 参照)

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望

- (1) 各種コミッショナーはそれぞれの任務を果たすために、日常の活動が重要である。
- (2) 有効な日常業務の遂行のためには、各組織との相互連携が重要である。
- (3) 情報収集・現状把握～施策的評価までの各段階の業務のポイントを明確にする。

2. 訓練目標を達成するために伝えること・実施すること

(1) コミッショナーの業務概要

①各種コミッショナーの業務

団担当コミッショナー	地区コミッショナー	県連盟コミッショナー
<ul style="list-style-type: none"> ○出席する会議・集会 <ul style="list-style-type: none"> ・地区コミ会議（又は県コミ会議） ・担当団の諸会議（参席） ・地区協議会総会 	<ul style="list-style-type: none"> ○主宰する会議・集会 <ul style="list-style-type: none"> ・地区コミ会議 ○出席する会議・集会 <ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドテーブル（参席） ・地区協議会 ・地区委員会 ○団担当コミッショナーの推薦（地区がある場合） 	<ul style="list-style-type: none"> ○主宰する会議・集会 <ul style="list-style-type: none"> ・県連盟内コミ会議 ・県連盟名誉会議（表彰規程・基準、表彰申請の手続き、審査、顕彰（披露、公表）等 ○出席する会議・集会 <ul style="list-style-type: none"> ・全国県連盟コミッショナー会議 ・県連盟総会 ・県連盟理事会 ・県連盟三役会 ・ブロック会議 ○地区コミッショナーの推薦 ○団担当コミッショナーの推薦（地区がない場合）

団担当コミッショナー	地区コミッショナー	県連盟コミッショナー
<ul style="list-style-type: none"> ○制服・記章類の正しい着用への指導 ○論争の調停、協働への仲介・支援（役割分担による協働促進、内外の調停） 	<ul style="list-style-type: none"> ○団担当コミッショナーへの助言及び指導 ○地区訓練方針の策定、指導者養成組織（委員会、トレーニングチーム）との共同 ○定型訓練の開設検討、定型外訓練の企画 ○制服・記章類の正しい着用への指導 ○論争の調停、協働への仲介・支援（役割分担による協働促進、内外の調停） ○他地区との協力と協調 ○他団体との協力 ○関係諸機関への協力及び支援依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○地区コミッショナー、団担当コミッショナーへの助言及び指導 ○県連盟訓練方針の策定、指導者養成組織との共同（委員会、トレーニングチーム） ○定型訓練の開設検討、定型外訓練の企画 ○県連盟トレーニングチームの統括 ○制服・記章類の正しい着用への指導 ○論争の調停、協働への仲介・支援（役割分担による協働促進、内外の調停） ○他県連盟との協力と協調 ○他団体との協力 ○関係諸機関への協力及び支援依頼

②コミッショナーの活動に関するハンドアウト「各種書式」によるコミッショナーの具体的な活動の説明

(2) 団、隊への支援活動の観点

- ①各団、各隊が抱える問題を解決に導くための支援を行う。（問題解決への支援）
- ②各団、各隊の活動がより効果的なものに改善されるための支援を行う。（前進的事業への支援）

(3) コミッショナー業務の流れ

情報収集・現状把握～施策的評価まで、各種コミッショナーの役割分担と情報の流れ、施策決定のプロセスについて説明する。

（資料「コミッショナー業務の流れ（概要）」参照）

- ①情報収集・現状把握から施策的評価までの一連の業務の流れ
- ②各局面のポイント、方法・考え方など

(4) 団、隊への支援の流れ

各種コミッショナーの任務・業務支援を実施するための情報・意見の収集や関係組織の施策実施に向けての連携について説明する。

（資料「各種コミッショナーと組織の関連」 §2「組織について」で使用した資料参照）

- ①団、隊への支援と地区、県連盟の施策実施
- ②地区、県連盟の意思決定の関与
- ③各種コミッショナーの業務と関係組織との関連

3. セッションのまとめと確認事項

- (1) 地区事業、県連盟事業、日本連盟事業は、突き詰めて言えばスカウト教育の現場である団、隊への支援に向けて実施されている。
- (2) 各種コミッショナーは、隊・団の問題点や要望・意見等について直接団、隊へのアドバイス、指導で解決しようとするだけでなく、特に他の団や地区等に共通するものやスケールメリットにより効果の大きいものについては、地区、県連盟、日本連盟を通じて、各種の事業として支援策を立案し展開することが重要である。

§ 5 団と隊

第1日 19時00分～21時00分(120分間)

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 団、隊の組織と機能を説明できる。
2. 団・隊運営の問題点を抽出できる。

指導上のねらい

1. コミッショナーとして団委員会の役割と機能を明確に理解させ、支援を行う場合にわかりやすく説明できるようにする。
2. コミッショナーとして隊指導者（特に隊長）の役割を明確に理解させ、支援を行う場合にわかりやすく説明できるようにする。
3. 団と隊の関連（団委員会は隊活動への支援をすることが主たる役割であること等）についてわかりやすく説明できるようにする。
4. 団はスカウト教育を実施する身近で有効な組織であることを理解させる。
5. 隊は、スカウトに直接関わり、指導できる身近で最小の組織（単位）であることを理解させる。
6. 育成会は団を有形・無形で支える有力な助っ人であり、いろいろな方法で支援を受けられるように努力する必要があることを理解させる。
7. 団、隊の組織と機能を理解することで、支援するための基本的情報となる団・隊運営の問題点を抽出できるようにする。

スタッフの仕事（依頼事項）

グループ作業時に、各グループ員が § 担当者の説明を十分に理解しているかを読み取りながら、課題に沿って討議、検討がされているかに注目をする。

準備品（資材・資料）

- ・日本連盟発行図書「団の運営と団委員会」
- ・ハンドアウト「課題資料：団、隊の現状（武庫川第99団）」（P.28 参照）
- ・ワークシート（P.29 参照）

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望

- (1) スカウティングを実施する最大の組織は団である。団は複数の隊を設置し、隊指導者によりスカウティングのプログラム活動を実施している。
- (2) すべてのコミッショナーは、団と隊の機能と関連を十分に理解している必要がある。
- (3) 団、隊の組織と機能を理解することにより、団・隊運営の問題点が明確になり、良い運営に向けての支援ができる。

2. 訓練目標を達成するために伝えること・実施すること

(1) 団の組織

① 団委員会の役割と機能

- ・団の構成と定義について（教育規程 3-1, 3-2）

② 団委員長と団委員について

- ・団委員長の選任と任期、団委員長の資格（教育規程 3-10、3-11）
- ・団委員長の任務（教育規程 3-11）

- ③育成会の役割と機能
 - ・育成会の設立とその任務について（教育規程3-3、3-4）
 - ・育成会の組織と運営について（教育規程3-5、3-6）
- (2) 隊指導者
 - ①隊指導者の役割
 - ・各課程別指導者の役割の違い（スカウトの違い）
…（教育規程3-16以降、課程別）
 - ② 隊指導者の資格と要件
 - ・隊指導者に共通するものと課程別による違い …（同上）
 - ③ 隊指導者の選任と任命
 - ・隊指導者に共通するものと課程別による違い …（同上）
- (3) 団委員会と隊指導者の連携
 - ①団会議の構成と機能（教育規程3-15）
 - ②団委員会の構成と機能（任務）（教育規程3-7～9）
 - ③団会議と団委員会の連携
 - ・団会議と団委員会の違いは
 - ・果たすべき役割の違いは…目的・目標の違い、機能の違い、構成員の違い
 - ・同じ目的、目標に向かった役割の違い
- (4) グループ作業
 - ①課題の説明

<課題>

配布した「課題資料：団、隊の現状」資料を確認し、問題と思われる点を抽出して下さい。

また、その問題点を解決するためには、「団委員会」「隊指導者」あるいは「団委員会と隊指導者の協同」のうち、どこが主体となることが望ましいと思いますか。

- ②グループ作業の実施
 - ・「課題資料：団、隊の現状」より、このケーススタディの団、隊における問題点を洗い出す。
 - ※幅広い観点より考察を行い、多方面での問題点の抽出を心掛けるようにアドバイスをを行う。ワークシートの各項目の「標準」欄に対応する「現状・問題点」の記述を行なう。
 - ・抽出された問題点を解決するにあたり、「団委員会」「隊指導者」あるいは「団委員会と隊指導者の協同」の解決主体を検討し、ワークシートの「解決主体」の欄の該当する主体に○印で囲む。
 - ※分類を行うには、団委員の役目についての十分な理解が必要であるため、§の講義内容、教育規定等を参照するようにアドバイスをを行う。特に、解決のための具体的な取組み内容は異なるが「協同」で行うものについて丁寧に説明する。
- ③グループ作業の発表
 - ※分類、発表時にそれぞれの役務を混同していないか、現状の団、隊の運営方法に引きずられていないかに注意しながら各グループの発表を分析、評価する。

3. セッションのまとめと確認事項

- (1) グループ作業の発表をもとにセッション担当者が講評を行う。
- (2) 団委員会及び隊指導者のそれぞれの役割を各自が再確認するとともに、ともに連携することが重要である。

§ 6 コミッショナーの活動と評価

第2日 9時00分～18時30分(570分間)

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 団運営に対する支援ができる。
2. 隊運営に対する支援ができる。
3. 日常業務を進める上で必要なコミッショナー間の連携ができる。
4. 日常業務を進める上で必要な組織との連携ができる。
5. 各種コミッショナーの活動計画の立案と評価ができる。

指導上のねらい

1. 現実に近い形で演習を行うことにより、コミッショナー相互の協力体制、組織との連携が必要であることを理解させる。
2. 隊、団への支援策にはさまざまな形態や手法があり、コミッショナーはそれらを効果的に活用し隊、団への支援を行うことを理解させる。
3. コミッショナーの活動は隊、団の現状を把握することから始まることを理解させる。
4. 隊・団への支援において、指導者の確保、養成に関わることが多くかつ重要であることを理解させる。
5. 定型訓練の訓練目標や内容を理解し、訓練・研修のニーズが満たされるかどうか判断できなければならないことを理解させる。
6. 活動計画の立案に当たっては、コミッショナーグループ内での計画内容の評価が重要であり、相互評価ができるようにする。

スタッフの仕事（依頼事項）

- ・チューターによる個人作業、グループ作業の支援
- ・チューターは、グループ作業、意見の交換等でグループによる相乗効果が生まれるように工夫・支援を行なう。
- ・作業の進捗状況を考慮し、昼食時間、休憩時間は適宜とる。

準備品(資材・資料)

- ・ハンドアウト「情報収集のための各資料の作成方法等（参考）」（P. 29 参照）
- ・所員用資料「グループ作業の進め方」（P. 30 参照）
- ・ワークシート①「問題点の抽出」（P. 31 参照）
- ・ワークシート②「原因と思われる事項と解決への糸口」（P. 31 参照）
- ・ワークシート③「解決策の策定その1」（P. 32 参照）
- ・ワークシート④「解決策の策定その2」（P. 32 参照）
- ・イントレイエクササイズ資料（地区、団の現状に関する資料） ※ 本資料の事前配付不可

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望

- (1) コミッショナーの日常業務（情報収集・現状把握～施策的評価）を実際に演習として行なう。
- (2) コミッショナーの支援の方法はさまざまなものがあり、柔軟な対応が必要であることを指導する。
- (3) 問題解決のためには、問題点の原因となっている事項を正確に把握することが重要である。
- (4) コミッショナーの活動計画は、その目的目標を明確にしたものとする。

2. 訓練目標を達成するために伝えること・実施すること

- (1) グループ作業の説明
 - ・資料「グループ作業の進め方」により作業について説明する。
- (2) 情報収集
- (3) 現状把握
- (4) 問題点抽出その1 個人作業
- (5) 問題点抽出その2 グループ作業
- (6) 問題点抽出その3 グループ発表
- (7) 原因追求その1 グループ作業
- (8) 原因追求その2 グループ発表
- (9) 解決策策定その1 グループ作業
- (10) 解決策策定その2 個人作業
- (11) 解決策策定その3 発表

3. セッションのまとめと確認事項

- (1) コミッショナーの業務は、コミッショナーグループだけで実施されるものではなく、運営組織と密接な関係を持って進める必要がある。
- (2) コミッショナーの考え方だけでなく、運営組織を構成する人々の意見や考えも重要である。
- (3) コミッショナーがその業務を効果的に進めるためには、周囲の人々と円滑な人間関係を築くことが必要である。

§ 7 コミッショナーに求められる資質

第3日 9時00分～11時00分（120分間）

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 任務を果たす上で必要な知識、技能、態度を知る。
2. 任務を果たす上で自己に不足する知識、技能、態度を身につけるための自己研修計画を立案できる。

指導上のねらい

1. 本コースのセッションを通じて自己に不足する知識、技能、態度について検討することにより、今後の自己研修意欲を高める。
2. コミッショナーに求められる知識、技能、態度はスカウティングを遂行するために必要な基本的な知識、技能、態度とコミッショナー特有の知識、技能、態度があることを理解させる。
3. 自己研修計画を作成し、よりよいコミッショナーに向けての目標設定を行ない、実践ができるようにさせる。

スタッフの仕事（依頼事項）

準備品（資材・資料）

- ・ワークシート「課題記入用紙」（P.33 参照）

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望

- (1) コミッショナーに必要な知識、技能、態度は多岐に亘る。また、個人の特性・適性等もある。
- (2) もっとも重要なことは、スカウティングに対する正しい知識と、隊・団を通じてスカウトたちに正しいスカウティングに触れさせることにより、彼らの成長を促したいという強い意志が必要である。
- (3) 支援には適切な評価と判断、そして次につなげるアクションが必要であることに気づくようにする。適切な評価には、評価を可能にする知識、技能、態度の裏づけが必要であること。現状に甘んじず、自己研鑽の必要性和コミュニケーションを通じた周りからの信頼、自分自身の自覚が必要であることを学べるようにする。

2. 訓練目標を達成するために伝えること・実施すること

(1) グループ作業

- ・次の課題について、グループで討議する。
- ・出し合ったものは、各自のノートに記述する。

※ポストイット等を利用し、多くの意見を出し合い、グループ化し、集約した後に討議を行なう方法でも良い。

課題：

コミッショナーに必要と思われる知識、技能、態度には、どのようなものがありますか。グループで話し合ってください。できる限り、具体的かつ簡潔にあらわしてください。

(2) 個人作業①

- ・グループ作業の課題で出し合ってノートに記述した事項について、各自で次の区分により自己評価する。

◎：十分備わっていると思う

○：備わっていると思う

△：やや備わっていない（不十分である）と思う

×：備わっていないと思う

(3) 個人作業②

- ・グループで話し合った内容、自己評価した結果及び本コース中に気付いた内容等を参考に、自己研修計画を立てる。

- ・チューターは支援を行い、自己研修計画の内容について確認する。

※解決（身に付ける）方法の記載は基本的には、コミッショナーにとって必要なものだけでよいが、指導者にも共通するものも、同様に解決（身に付ける）方法を記入する。

※「達成を確認する（できる）具体的な基準」は達成を自己でも確認できるベンチマークの設定である。

※結果、経過報告については、本コース後の「自己課題」研修とし、地区、県連盟コミッショナーへの報告内容とする。

3. セッションのまとめと確認事項

(1) コミッショナーに求められる資質は、さまざまである。

(2) 常に謙虚な姿勢で、自己を高め、地域のスカウティングのために努力が求められている。

(3) 自己研修計画は、定期的に評価・反省を行ない、進捗度合いと方向性の確認ができ、より良い結果へつなげる。

閉所式プログラム

(30分)

1. 開式のことば
2. 修了証授与
3. 所長挨拶
4. 主催者挨拶
5. 来賓挨拶
6. 来賓紹介
7. 連盟歌斉唱
8. 国旗儀礼（国旗降納）
9. 閉式のことば

ねらい

- ・ 参加者に本コースで学習したことを自団に生かし、よりよいコミッショナー業務への意欲と自信、心構えについて改めて確認させる場とする。

留意点

- ・ コミッショナー研修所を終えるのに相応しい場所を選定する。
- ・ 国旗降納の際は、国旗を掲揚柱から外し、所長に返納する。

準備品

- ・ コミッショナー研修所修了証
- ・ 閉所式式次第
- ・ 参加者名簿
- ・ 参加者への返却品

ハンドアウト ワークシート

コミッションナー研修所の目的と目標

1. 目的

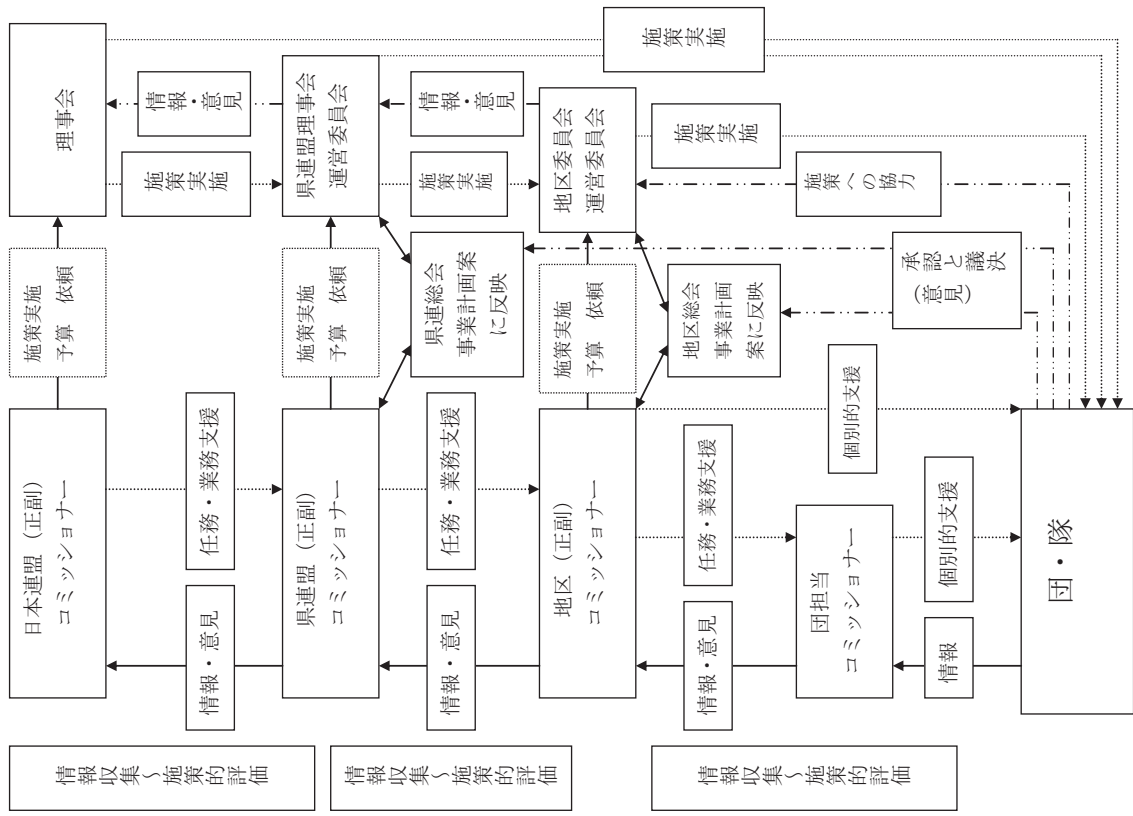
コミッションナー研修所は、隊指導者上級訓練課程修了したコミッションナーまたはその候補者を対象に開設し、参加者がコミッションナーとしての任務の理解、業務の推進を通じてスカウト運動の発展に寄与できるように訓練することを目的とする。

2. コースの目標

- (1) 組織と各種コミッションナーの位置付けを理解する。
- (2) 各種コミッションナーの任務を理解する。
- (3) 日常業務の進め方と組織との連携を理解する。
- (4) 任務を果たす上で必要な知識、技能、態度を身につけるための自己研修ができる。
- (5) コミッションナー研修所の運営方法等を理解する。

*各種コミッションナー：
 団担当コミッションナー
 地区（副）コミッションナー
 県連盟（副）コミッションナー

各種コミッションナーと組織の関連



各種書式

- 進歩
 菊スカウト面接申請書
 隼スカウト面接申請書
 富士スカウト面接・認証申請書
 信仰奨励章交付申請書
 世界スカウト環境バッジ交付申請書
- 指導者養成
 ウッドバッジ研修所申込書
 ウッドバッジ研修所「課題研修」＜認定は正副トレナー＞
 ウッドバッジ実修所第一教程「課題研究」＜認定は正副トレナー＞
 ウッドバッジ実修所第二教程（プログラムトレーニング）申込書
 団委員研修所申込書
 団委員研修所「課題研修」＜認定は正副トレナー＞
 安全セミナー申込書
 回委員実修所第一教程「課題研究」＜認定は正副トレナー＞
 回委員実修所第二教程（マネジメントトレーニング）申込書
 コミッショナー研修所申込書
 コミッショナー研修所「課題研修」＜認定はリーダー＞
 コミッショナー研修所「課題研修」＜認定はリーダー＞
- 国際
 海外派遣参加申込書（スカウト用）
 海外派遣参加申込書（指導者用）
 カンデルスティッチ夏季野営スタッフ派遣・国際キャンプスタッフ派遣・国際キャンプスタッフ計画派遣参加申込書
 「国際紹介状」発給申請書
 トレナー
 リーダートレナーコース参加申込希望者提出用課題・経歴書
 副リーダートレナーコース参加申込希望者提出用課題・経歴書
 トレナー任務達成目標・成果シート

- 表彰
 日本連盟表彰申請書
 隊表彰申請書
 特別年功章申請書
 県連盟表彰申請書
- 加盟登録
 登録審査書類（データ）

各種コミッショナーの任務・業務等の概要

	団担当コミッショナー	地区コミッショナー	県連盟コミッショナー	日本連盟コミッショナー
活動のフィールド	担当する団及び隊(概ね3～6個団を担当)	担当する地区	担当する都道府県連盟	日本連盟
選任方法	地区委員長と地区コミッショナーとの推薦	県連盟コミッショナーと地区委員長との推薦	県連盟理事会の議を経て連盟長が推薦	理事会の議
就任の過程	県連盟理事会の議	県連盟理事会の議	日本連盟コミッショナーが理事長と協議	理事会が業務執行理事の中から選任
委嘱者	連盟長	連盟長	日本連盟コミッショナー	理事長(日本連盟)
任期	2年(6月30日更新)	2年(6月30日更新)	2年(12月31日更新)	理事の任期に準じる。2年(3月31日更新)
推薦条件	1. 青少年の教育を託するに足る品性及び経歴 2. 本運動の経験及び知識 3. 地区内の教育にたずさわる指導者を主導する能力 4. ウッドバッジ実修所又は隊指導者上級訓練課程を修了した者又は就任後できるだけ速やかに隊指導者上級訓練課程を修了できる者	1. 青少年の教育を託するに足る品性及び経歴 2. 本運動の経験及び知識 3. 地区内の教育にたずさわる指導者を主導する能力 4. コミッショナー研修所又はコミッショナー基礎訓練課程を修了した者又は就任後できるだけ速やかにコミッショナー基礎訓練課程を修了できる者	1. 青少年の教育を託するに足る品性及び経歴 2. 本運動の経験及び知識 3. 県連盟内の教育にたずさわる指導者を主導する能力 4. コミッショナー実修所又はコミッショナー上級訓練課程を修了した者又は就任後できるだけ速やかにコミッショナー上級訓練課程を修了できる者	規程なし
任務	・県連盟コミッショナー又は地区を置く場合は地区コミッショナーの助言と指導を受け、担当する団及び隊が、本連盟及び県連盟の方針等に従い、効果的にプログラムが実施されるように団の訪問・巡回を通じて団委員会及び隊指導者に協力し、助言及び指導並びに援助を行う。	1. 地区における本運動が本連盟と県連盟の規定に従い展開するよう努めるとともに、地区内の指導者に対して助言及び指導を行う。 2. 地区委員会に対して責任を負うとともに、教育面及び指導面で地区を代表する。 3. 地区副コミッショナーを統括し、所管する任務を分担させるとともに、団担当コミッショナーに対して助言及び指導を行う。 4. 地区内のコミッショナーと協力し、団に対して助言及び指導並びに援助を行う。	1. 県連盟における本運動が本連盟と県連盟の規定に従い展開するよう努めるとともに、県連盟内の指導者に対して助言及び指導を行う。 2. 県連盟理事会の下で、スカウト教育について純正な推進を図り、県連盟理事会に対して責任を負うとともに、教育面及び指導面で県連盟を代表する。 3. 県連盟副コミッショナーを統括し、所管する任務を分担させるとともに、地区コミッショナー、団担当コミッショナー等に対して助言及び指導を行う。 4. 県連盟トレーニングチームを統括する。 5. 県連盟内コミッショナー会議を主宰する。 6. 別に定める県連盟の規定に基づき県連盟名譽会議を主宰する。	1. 日本連盟理事となる。 2. 日本連盟の教育に関わる業務を統括し、分担執行する。 3. 日本における本運動が世界スカウト機構憲章及び本連盟の方針と規程に従い展開されるように努める。 4. 本連盟におけるスカウト教育が純正に推進されるように努めると共に、その結果について理事会に対して責任を負う。 5. 教育推進会議を主宰し、スカウト教育の運営及び推進にあたる。 6. 全国スカウト教育会議を主宰し、指導者の資質の向上にあたる。 7. 全国県連盟コミッショナー会議を主宰し、コミッショナーの連携強化にあたる。
業務	1. 団の運営に関する事 (1) 団委員会に関する事 ① 団委員の任務分担と連携に関する事 ② 隊の管理・運営・環境に関する事 ③ 広報・募集に関する事 ④ 健康と安全に関する事 ⑤ 加盟登録の管理に関する事 ⑥ 財政に関する事 ⑦ 保護者との連携に関する事 ⑧ 地区に関する事 ⑨ 育成団体に関する事 ⑩ 団・隊内のコミュニケーションに関する事 ⑪ 地域とのコミュニケーションに関する事 2. 隊活動の質の向上に関する事 ① 隊の運営に関する事 ② 指導者養成に関する事 ③ スカウトの進歩に関する事 ④ スカウティングの原理・原則の遵守、方法に関する事	1. 青少年のプログラムに関する事 (1) 各部門のプログラム活動に関する事 (2) 野外教育(活動)に関する事 (3) 奉仕活動に関する事 (4) 安全に関する事 (5) スカウトの国際交流・国際理解に関する事 (6) その他スカウトのプログラムに関する事 2. アダルトリソースに関する事 (1) アダルトリソース方針に関する事 (2) 指導者の人材開発、トレーニングの提供、学習の支援及び人材活用に関する事 (3) その他、指導者及びそのトレーニングに関する事 3. 組織及びコミュニケーションに関する事 (1) 団等の加盟登録と審査に関する事 (2) 制服・記章及び標章の着用にに関する事 (3) 団・隊の組織とコミュニケーションに関する事 (4) その他、他団体、地域社会等の組織とのコミュニケーションに関する事 4. 団と隊の指導・助言・援助に関する事	1. 青少年のプログラムに関する事 (1) 各部門のプログラム活動に関する事 (2) 野外教育(活動)に関する事 (3) 奉仕活動に関する事 (4) 安全に関する事 (5) スカウトの国際交流・国際理解に関する事 (6) その他スカウトのプログラムに関する事 2. アダルトリソースに関する事 (1) アダルトリソース方針に関する事 (2) 指導者の人材開発、トレーニングの提供、学習の支援及び人材活用に関する事 (3) トレーニングチームに関する事 (4) その他アダルトリソースに関する事 3. 組織及びコミュニケーションに関する事 (1) 地区・団・隊の組織及びコミュニケーションに関する事 (2) 団等の加盟登録と審査に関する事 (3) 他団体、地域社会等本連盟組織以外のコミュニケーションに関する事 (4) 制服・記章及び標章の着用にに関する事 4. 地区コミッショナーの指導助言に関する事 5. 県連盟の名譽会議を主催すること	
特記事項	・県連盟、地区規約によっては地区協議会・地区委員会等において議決権を行使できる	・県連盟、地区規約によっては地区協議会・地区委員会等において議決権を行使できる	・県連盟規約によっては県連盟理事会において議決権を行使できる	・日本連盟理事会において理事として議決権を行使できる

モズル団(武庫川199団)

団の概要

この団は、親団より分封を行ない、22年になる。CSスカウトだけで分封をした後、スカウト数も増え、一時はCS隊5組(30名)、BS隊4組(34名)、総数100名のスカウトの時期もあった。地域の成熟化に伴い、スカウト人口、小学生年代の子どもの数が少なくなった地域内には校があった小学校も統合され1校になっている。新規スカウト獲得のために、年2回ほどの体験入隊を実施。活動地域を地下鉄沿線沿いに新しい新興住宅地へと広げている。

団委員長は、分封前よりの指導者で今は数少ない昔を知る人間の1人。地区総務委員長。団委員長は4年ほどで交代を繰り返してきたが、指導者の減少もあり、今の団委員長は10年になる。

スカウト数

	計	BVS	CS	BS	VS	RS
スカウト	24	2	8	4	5	5
カ	13	3	8	1	0	1
ト	計	5	16	5	5	6
指導者	14	1	7	3	2	1

団委員長

指導者の70%以上、研修歴
BVS、CS、BSの隊長は各課程の研修所修了者、VS隊長はVS研修所未修了。
BVS隊長は団委員長が兼務。プログラムがマンネリ化。隊長歴15年。副隊長は日本連盟のトレーナーが1名。この者以外はWB美修所、団運営研修所修了者は居ない。
CS隊長はスカウト経験者だが、頑固者で、CS隊の野外活動には消極的。隊長歴3年目。
BS隊長は活動には熱心だが、野営技能に乏しい。隊長歴5年目。
数年前までは、箱スカウトを毎年数名輩出していたが、この数年は出ていない。信仰奨励員取得者はゼロ。
VS隊長は若じだが、プロジェクトへの指導に迷いがあがり、なかなか活動に結びつかない状況。過去、この団で富士スカウトは出ていない。隊長歴6年目。
RS隊は一部のスカウトが回行事に兼任を行っているが、それ以外の活動はしていない。隊長はいない。

運営、会議の状況

団委員長、団会議は毎月定例で開催されているが、分かれていない。地区のRT(ラウンドテーブル)にはどの隊長も欠席が多い。副隊長はほとんど出席していない。隊長集計画書は作成されているが、安全対策画書は作成されていない。

BS隊の状況

BS隊は1個班編成
BS隊長: 51歳、スカウト経験はないが、熱心。最近、地区の副コミを引受け、多忙気味。
BS副隊長: 54歳、スカウト経験はない。先代の隊長。BS美修所修了者。
BS副隊長②: 49歳、スカウト経験者。研修はBS講習会のみ。山歩きは趣味。料理はプロ並。

班長:

も熱心で、泊まりの活動は出て来れない。2級スカウト。他の隊長も嫌いではないが、クラブ活動は休まない。ジャンボリー経験者。父親がCS隊長。技能に熱心で、積極的に、時間にルーズなど進められない。ジャンボリー上達者。父親がCS講習会のみ。山歩きは趣味。料理はプロ並。
班員3名は中学生2名、小学生1名。クラブ活動が許す範囲で参加。小学校6年生1名は班長の弟。活動は休まない。班員会議はGB会議として、毎月定例で開催(第1日曜日、夜)。活動内容により、そのときに班長訓練を実施。副隊長は3月春休み恒例のプログラム(青春18切符を使った、小旅行)において、班員集計画書を経て実施。スカウトの参加率も100%(過去も同様の傾向)

BS隊の年間プログラム

9月	上達式、スカウトの日(カンパリー大作戦、奉仕活動)
10月	歓迎キャンプ、CS隊運動会奉仕
11月	地区ハイキング(読図、コンパス、産産読み、地図記号)
12月	クリスマス会(地域の神父さんのお話を聞く、ゲーム大会)
1月	団新年式、地区左義長祭り(火祭り)奉仕
2月	団スキー
3月	小旅行(青春18きっぷ)
4月	スカウトラリー(地区行事、ラリーに向けての技能訓練)
5月	ハイキング(神戸まつり、ラリー参加(地区行事))
6月	魚釣り、クマ体験キャンプ(上達キャンプ)
7月	訓練キャンプ(隊キャンプ、合同キャンプ)
8月	4泊5日のキャンプ(県、地区、団、ジャンボリー)とサイクルで実施)

コミッションナーの業務の流れ(概要)



会議等	地区・県コミ会議	地区・県コミ会議	地区・県コミ会議	地区・県コミ会議	関係機関会議等	関係機関会議等	地区・県コミ会議等	地区・県・日本連盟	
各局面のポイント	担当地域内のさまざまな情報を収集する	収集した情報をもとに現状をなるべく正しく把握する	現状をもとに解決しなければならぬと思われる問題点を抽出する	その問題を引き起こしていると考えられる原因を追求する	原因を解消するための解決策を策定する	策定した解決策を関係機関に提示し、事業化するよう働きかける	事業実施後評価に協力する	事業効果の程度を情報収集する	事業が問題点の解決に役立ったか評価する
実施単位	各団単位で集約	各団・地区・県連	地区・県連	地区・県連	地区・県連	地区・県連	地区・県連・日連	地区・県連	地区・県連・日連
主体者	団担当コミッションナー 地区コミッションナー その他(団指導者、地区委員他)	団担当コミッションナー 地区コミッションナー 県連盟コミッションナー	団担当コミッションナー 地区コミッションナー 県連盟コミッションナー	団担当コミッションナー 地区コミッションナー 県連盟コミッションナー	団担当コミッションナー 地区コミッションナー 県連盟コミッションナー	団担当コミッションナー 地区コミッションナー 県連盟コミッションナー 日本連盟コミッションナー 関係機関、関係組織	団担当コミッションナー 地区コミッションナー 県連盟コミッションナー 日本連盟コミッションナー 関係機関、関係組織	団担当コミッションナー 地区コミッションナー 県連盟コミッションナー 日本連盟コミッションナー 関係機関、関係組織	団担当コミッションナー 地区コミッションナー 県連盟コミッションナー 日本連盟コミッションナー 関係機関、関係組織
方法や考え方	(1) 団委員会訪問 (2) 回会議訪問 (3) プログラム見学 (4) 団指導者と個別で話し合う (5) 団委員長(長)と個別で話し合う (6) 当該団スカウト、指導者を観察 (7) 登録審査等への立会い (8) 書類等各種データを読む (9) ラウンドテーブル等への参加 (10) 世評等 (11) その他	(1) 団の機能面 ① 団委員会開催状況とその内容 ② 団会議開催状況とその内容 ③ 団委員会の活動状況とその内容 ④ 団指導者への支援状況とその内容 ⑤ 財政・資材の充足状況 ⑥ 事業推進状況 ⑦ 加盟員募集 ⑧ その他(広報他) (2) 組織面 ① 加盟登録数・現在加盟数・各隊のバランス・増減率・中途退団率・その他 ② 団指導者の状況・団指導者の充足状況 ③ 隊指導者研修歴・その他 (3) プログラム面 ① 活動内容 ② 進捗状況 ③ スカウト教育法の採用状況 ④ 安全管理状況 ⑤ 活動場所の状況 ⑥ 規律維持の状況 ⑦ 出席状況 ⑧ その他 (4) その他	(1) 問題点を集約 ① 団の機能面 ② 組織面 ③ プログラム面 ④ その他 に分類する (2) さらに(1)の問題点を当該団問題点と共通する問題点に分類する	(1) 集約した問題点を引き起こしていると思われる原因を追求する ※関係確認など ① 1つの現象が1つの原因で引き起こされていると思われるもの ② 2つ以上の現象が1つの原因で引き起こされていると思われるもの ③ 1つの現象が2つ以上の原因で引き起こされていると思われるもの (2) それぞれの問題点とその原因を①特定の団や隊固有のもの、②複数の団や隊のもの、③地区連盟全体のもの、④日本連盟の施策等に起因するもの等に分類する	(1) 解消すべき原因に優先順位をつける (2) 各々の原因を解消するために実施すべき施策、打つべき手立て等を検討する ① 個別支援 ② イベントの開催 ③ 指導者訓練の実施 ④ 会議の開催 ⑤ 懇談会の開催 ⑥ 通達 ⑦ 注意喚起 ⑧ 訪問による話し合い ⑨ その他 (3) 実施すべき施策、打つべき手立てを①関係機関(地区委員、県連盟等)に働きかけて事業化するものと、②コミッションナーが直接対応するものとに分類する	(1) コミッションナーが直接実施すべき施策については実施計画を立て、実施する (2) 地区委員会等で実施すべき施策は地区の関係委員会等と協議し計画を立て、地区総会等で事業化し実施する (3) 県連盟全体で実施すべき施策は県コミッションナー、他地区のコミッションナー等と協議し、県連盟理事会(各運営委員会等)と協議し計画を立て、県連盟次総会等で事業化し実施する (4) 日本連盟で取り組むべき施策については、県連盟理事会を経て日本連盟に意見申請、事業化要請等を行う	(1) 事業実施主体者がそれぞれの事業の計画と反省を行う	(1) 実施直後、実施後一週間経過後の現状等を調査し把握する(現状把握・変化の度合いを把握) (2) 事業目的、目標、方法の確立 (3) 事業継続の必要性 (4) 方針、方法等の変更等の必要 (5) 将来の展望 (6) 新たな課題 (7) その他	(1) 実施直後、実施後一週間経過後の現状等を調査し把握する(現状把握・変化の度合いを把握) (2) 事業目的、目標、方法の確立 (3) 事業継続の必要性 (4) 方針、方法等の変更等の必要 (5) 将来の展望 (6) 新たな課題 (7) その他

情報収集のための各資料の作成方法等 (参考)

1. 指導者台帳
 - (1) 作成方法
 - ①地区コミッションナーが中心となって、登録審査時の資料を台帳に整理した。
 - ②不足する情報は地区正副コミッションナーが団訪問や各団の登録担当者、隊長等に問い合わせた。
 - ※当該地区は3個団で編成されているため、地区コミッションナーが担当コミッションナーを兼務している。担当コミッションナーが別途任命されている場合は、この業務は担当コミッションナーが行う。
 - (2) 情報源
 - ①登録審査資料 ②登録申請書 ③団名簿 ④団(育成会)総会資料
 - ⑤団訪問時の情報 ⑥個人への問合せ ⑦他
2. 地区の概要
 - (1) 作成方法
 - ①地区内の各種活動記録を整理
 - ②県連からの各種連絡事項を整理
 - ③県連総会資料を整理
 - ④登録審査資料、登録申請書、団名簿等を整理
 - ⑤聞き取り調査(団訪問、隊訪問、個人へ問合せ等)
 - (2) 情報源
 - ①登録審査資料 ②登録申請書 ③団名簿 ④団(育成会)総会資料
 - ⑤団訪問時の情報 ⑥個人への問合せ ⑦他
3. その他の情報
 - (1) 作成方法 地区正副コミッションナーのメモや記憶を地区コミッションナー会議で整理
 - (2) 情報源
 - ①団訪問時の情報 ②地域活動での情報 ③個別相談等の情報 ④その他

項目	団委員会		隊				
スカウト人数	標準	/	BVS 10~20人	CS 6人×4組	BS 8人×4班	VS 3~20人	RS 3~30人
	現状・問題点						
	解決主体		団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同
指導者	標準	団委員長 30歳以上	BVS 隊長・副長 隊長25歳以上	CS 隊長・副長 隊長25歳以上	BS 隊長・副長 隊長25歳以上	VS 隊長・副長 隊長25歳以上	RS 隊長・副長 隊長30歳以上
	現状・問題点						
	解決主体	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同
指導者研修歴・ その他資質	標準	団委員：団運営研修所への参加努力 団委員長：隊長として1年以上	BVS WB研BVS	CS WB研CS	BS WB研BS	VS WB研VS	RS WB研RS
	現状・問題点						
	解決主体	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同
会議の開催及び 出席状況	標準	団会議/団委員会	隊集會	組集會/隊集會	班集會/隊集會	隊會議	隊集會
	現状・問題点						
	解決主体	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同
訓練・プログラム	標準	/	集會/出席状況等	集會/出席状況 /進歩状況等	集會/出席状況 /進歩状況等	集會/出席状況 /進歩状況等	集會/出席状況 /進歩状況等
	現状・問題点						
	解決主体		団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同	団・隊・協同

グループ作業の進め方

◆手法：「イントレイト・エクササイズ」シミュレーション

解説「イントレイト・エクササイズ」
参加者にイン・トレイト（朱次箱）またはバスケットの手紙、メッセージ、回覧物などが渡されます。これは、役務（例えば隊指導者など）と関連をもつ課題を参加者に提供することを入念に意図しています。そして、参加者がそれを分析し、どのような方法で実行するか決定します。次に、この意思決定は分析し、評価されます。ねらいは、参加者に役務に関連する問題を解決する機会を与えることです。
(世界アダルトソシヤリスティックスハンドブック セクション8.0.0 より)

◆作業のプロセス

時間	作業内容	留意点等
9:30	セッション担当による作業説明	
9:35	【情報収集】 地区副コミ（チャーター）は、地区内の団・隊の情報収集について、団担当副コミから資料が提出されたことを知らせる。 地区副コミ（参加者）に地区内の情報（イントレイト材料）を配付する。	情報収集後の地区副コミ会議を演示してもよい。 演習の効果を得るため、イントレイト材料は、このときに渡す。事前に送付を申しない。
9:40	【現状把握】（個人作業） 地区副コミ（参加者）は、各自地区内の情報を読み込んで現状把握を行う。 ＜個人作業指示＞ 地区副コミセッションの立場で配付資料を読み、情報内容を整理し、団の現状を把握してください。 現状を把握するうえで、大事と思う事実内容にはアンダーラインを引いてください。	
10:10	【問題点抽出 その1】（個人作業） 地区副コミ（参加者）として、現状把握で重要と考えた点について、分析し問題点を抽出する。 ＜個人作業指示＞ 地区内の各団の現状の中にある客観的事実を分析し、問題点を抽出してください。抽出した問題点を、その団固有の問題点なのか他の団とも共通する問題点か示し、ワークシート1に記入してください。	ワークシート1を使用する。
10:40	休憩	
11:00	【問題点抽出 その2】（グループ作業） 地区副コミ（参加者）が集まって、各自が抽出した問題点を整理する。 ＜グループ作業＞ 個人で抽出した問題点を地区副コミ（グループ内参加者）と共有して整理し、構造紙に記入してください。 司会者・記録・発表者を決めてください。	構造紙を使用する。
11:20	【問題点抽出 その3】（グループ発表） 地区副コミが整理した問題点を地区副コミ（チャーター）に報告する。当該地区副コミ（チャーター）は、問題点が適切に抽出されているか評価する。 全地区（グループ）が順次発表、評価を行う。 ＜発表＞ 地区副コミは、地区の問題点を発表してください。それに対し、地区副コミは適切かどうか評価してください。	参加者の新たな気づきや改善が図られるような評価を行う。

時間	作業内容	留意点等
12:00 13:00	昼食 【原因追求 その1】（グループ作業） 地区内各団の問題点の原因を追究する。資料では不十分な点があるので、独自で適宜想定を行ってよい。 ＜グループ作業＞ 地区副コミ（参加者）として地区内各団の問題点を整理し、ワークシート2に書き込んでください。 その問題の原因と解決の糸口について、地区副コミで話し合いを行ってください。	ワークシート2を使用する。
13:50	【原因追求 その2】（グループ発表） 地区副コミが整理した原因と解決の糸口を地区副コミ（チャーター）に報告する。当該地区副コミ（チャーター）は、検討結果について適切であるか評価する。 全地区（グループ）が順次発表、評価を行う。 ＜発表＞ 地区副コミは、地区の問題点の原因及び解決への糸口を発表してください。それについて、地区副コミは適切かどうか評価してください。	1つの問題点はいくつかの原因が考えられることか、問題の解決策は、複数ある場合が多いことに留意する。
14:45 15:00	休憩 【解決策策定 その1】（グループ作業） 原因を解消するための解決策を策定する。 地区が団・隊に直接支援する解決策（個別の団・隊への対応）と地区・県連の事業として全体的に取組む解決策（地区内共通の対応）をそれぞれ1つ選択し、解決策のタイトル（〇〇に関するイベント（活動、研修、セミナー、会議等）の開催など）を設定する。また解決策（事業）の目的を設定する。 ＜グループ作業指示＞ 地区内各団の問題点を解決するための解決策をグループで話し合っ決定して下さい。 現状→問題点→原因の流れを再確認し「団・隊への支援策」「地区・県連としての事業」とするものをそれぞれ1つづつ選択してください。選択したのものについて、それぞれ解決策のタイトルと解決策（事業）の目的をワークシート3に記述してください。	ワークシート3を使用する。
15:40	【解決策策定 その2】（個人作業） 「団・隊への支援策」「地区・県連としての事業」のそれぞれについて、事業実施の企画案をワークシート4を用いて作成する。 ＜個人作業指示＞ 解決策（事業）の企画案（ワークシート4）を作成してください。（各自2つの企画案作成）	ワークシート4を使用する。 ワークシート4が主体となる事業も、他の関係者との協力があまる点に留意する。
16:45 17:00 18:00	休憩 【解決策策定 その3】（発表） 副コミ（参加者）が、各自の事業企画案を発表する。グループの人数によって、各自1つの企画案の発表でも良い。発表後、地区副コミ（チャーター）及び副コミ（参加者）による質疑応答と評価を行う。 ＜発表＞ 地区副コミ（参加者）は、事業企画案を発表してください。 発表を聞いて、地区副コミ（チャーター）及び他の地区副コミ（参加者）は、目的、目標等が問題解決につながっているか、また事業内容が適切かどうか評価してください。	事業企画案の目的、目標が、問題解決につながっているか検証、評価する。

セッション6

問題点の抽出

ワーグシート①

氏名

グループ

優先順位	問題点	団名 共通する場合は複数回書く

セッション6

グループ

原因と思われる事項と解決への糸口

ワーグシート②

氏名

各国の問題点	原因	解決への糸口
◎◎団BS隊では、班長訓練が行われていない。	◎BS隊長の班副教育の重要性についての認識が低い。 ◎BS隊長ひとりの団や、隊長の役割を分担できる副長が不足している。	→BS隊長の研修 →BS副長の確保、研修

グループ

	「団・隊への支援策」	「地区・県連としての事業」
現状		
問題点		
原因		
解決策(事業)のタイトル		
解決策(事業)の目的		

企画書

企画書作成者	
タイトル	
目的	
目標	
事業主体	
実施スタッフ	
協同する組織等	
期日	
場所	
参加対象者	
参加人数	
事業内容	
事業予算	

§ 7 課題「コミッショナーに必要と思われる知識、技能、態度には、どのようなものがありますか?」記入用紙

No.	グループ作業により抽出された資質				解決(身に付ける)方法					結果、経過報告		
	隊指導者にとって必要なもの	コミッショナーにとって必要なもの	知 技 態	自己評価	コース中に解決できたこと どのように解決できたか	どのような方法、手段で	誰から、何から (具体的に)	どこで	達成を確認する(できる)具体的な基準は	期日 (いつまでに)	目標期日時点での結果及び経過 状況 (自己評価、作成物、他者評価)	自己評価、今後の課題
				◎○ △×								
(記入例)	コミュニケーション能力	(同左)	知、態	△ 年長者、経験豊富な人に対するのアドバイスに躊躇を感じる		一般的なコミュニケーション手法 ・対応者のプロフィールを知る、研修生、スカウト経験、特技(スカウト技能、一般的なこと)、仲間など	・書籍、外部講師、トレーナー ・事務局、同じ団の仲間、親しい先輩	・書籍、外部講習会、定型/定形外訓練 ・団会議、団委員会、団訪同時、ラウンドテーブル、募集会、その他会同	団訪問がスムーズに出来るようになれば	2012/3月		

自己評価…◎:十分に備わっていると思う ○:備わっていると思う △:やや備わっていない(不十分である)と思う ×:備わっていないと思う
 知技態…知識、技能、態度のどれにあたるかを記載(複数可)
 ※ 解決(身に付ける)方法の記載は基本的には、コミッショナーにとって必要なものだけでよいが、指導者にとって必要なものについても、同様に解決(身に付ける)方法を記入する。

§6イントレイ・エクササイズ資料

S 6 団の現状把握のための資料（その1）

武庫川地区の概要（当年4月1日）

※地区総登録数 団委員 123人、指導者 190人、BVS 56人、CS 130人、BS 100人、VS 44人、RS 68人、
合計 711人

1. 地区所属団 14個団 62ヶ隊
2. 地区役員構成 地区協議会長 1、副会長 2、地区委員長 1、副委員長 2、スカウト委員長 1、指導者委員長 1、組織拡充委員長 1、野営行事委員長 1、健康安全委員長 1、ユース委員長 1
会計 1
3. 地区協議会 地区コミッショナー 1、地区副コミッショナー 3
団担当コミッショナー 3（現在副地区コミが兼務）
4. 地区委員会 年3回（内1回地区総会を兼ねて開催） 出席率 60%
年10回

役員出席率 90%

5. 指導者研修（定型訓練）の開催状況

県連盟主催
ウッドバッド研修所 BVS 課程 年1コース
ウッドバッド研修所 CS 課程 年1コース
ウッドバッド研修所 BS 課程 年1コース
ウッドバッド研修所 VS 課程 年1コース

地区主催
団運営研修所 年1コース
指導者講習会 毎年1回
指導者研修（定型外）の開催状況

県連盟主催
野営法研究会（年2回）
進歩研究会（各部門年1回）
団運営研究会（年1回）
技能研究会（年1回）

地区主催
各部門ラウンドテーブル（隊長、副長対象） 年9回

BVS 部門 出席率 80%
CS 部門 出席率 75%
BS 部門 出席率 80%
VS 部門 出席率 70%

団 RT 2回（団委員長、団委員）
合同 RT 1回（全部門隊指導者）
指導者1泊研修会 1回
団委員長懇談会 2回
定型外訓練 7回
デリバリー研修 随時

6. 県連盟主催行事
県合同野営 4年に1回開催

7. 近年の地区登録数の推移

	BVS	CS	BS	VS	RS	指導者	団委員	合計
前々年	99	157	142	76	70	186	145	815
前年	56	146	114	52	73	188	130	759
当年	56	130	100	44	68	190	123	711

8. 広報活動

地区としては特に広報活動を実施していないがホームページを開設し、各団のページを設けている。公民館8カ所程度でパネル展実施。

9. 地区及び各団の環境と概況

- (1) 県内の中堅的な地区であり、一市一地区で構成している。
- (2) 市内を北(4ヶ団)、中(5ヶ団)、南(5ヶ団)のブロックに分け、団担当コミッショナーの担当としている。また、年に1回ブロック毎で、合同体験入隊集会を開催している。
- (3) 地区キャンポリーを4年に1回開催。ここ2回は、ローバースカウトが主体になり企画・計画・運営を実施している。

(2) 第2団

市南部の商業地域にあり、2年前に近隣4個団が統合して新たに組織された団である。従って対象範囲は広く、集会の場所（主に公園）を月毎に移動するという負担がある。統合してきた団のため団委員、指導者が多く、その整理を今年度で終える予定である。

今年度から3カ年計画を実施し、スカウト40%増、指導者の質の向上等を目指している。

(3) 第9団

市北部の商業地域にあり、地域の理解を獲得した財政的に豊かな団である。一昨年、BS 隊指導者と一部保護者とのコミュニケーションが損なわれ、スカウト減少に拍車をかけてしまっている。団委員長をはじめ、団委員、隊指導者は懸命に回復を図っているが、いまだ効果が表れないのが現状である。

BVS 隊は昨年度から消滅し、今年度も回復していない。従って今後のスカウト増加は難しい状況にある。しかし優秀な指導者を擁し、基本的な隊活動を目指そうという気概は失われていない。

現在、親団と統合するかどうかの岐路に揺れている。

(4) 第16団

当団は市北東の比較的農村の雰囲気を残した自然豊かな地域にある。発団40年を超える団であり、地域の有力な寺院が育成会の主体となり、檀家の行事等を通して資金的支援があり、財政的には一応確立している。

かつては優秀な指導者が多かった団であるが世代交代が円滑に進まず、深刻な指導者不足に陥っている。昨年よりRS 隊の登録が途切れ、若い指導者の養成も難しい模様である。

武庫川第2団 前年度 BS 隊活動評価

- ・今年度も1個班編成であったため対班競争ができなかった。CS 隊スカウトが増加しているが、この傾向が続けば BS 隊が複数班体制になるのは3年後であると考えられる。
- ・野外活動が不十分であった。
- ・進級が予定通り進まなかった。
- ・出席率の向上も図れなかった。来年度は班集会の回数を減らそうと考えている。
- ・団の目標達成にあまり貢献できなかった。

武庫川第9団 前年度 BS 隊活動評価

- ・今年度も1個班編成であったが、今後も隊員増加が見込めない。
- ・保護者とのコミュニケーションに問題を残したため協力が得られない場合があった。大きな反省材料である。
- ・野外活動は順分できたと評価している。
- ・集会の出席率は満足できている結果であった。
- ・対班競争ができなかったため近隣団と合同プログラムを大いに活用した。

武庫川第16団 前年度 BS 隊活動評価

- ・今年度前半は日本ジャンボリーに関わるプログラムが主な活動になってしまった。しかも参加予定者のみの活動であったため参加しないスカウトは不利益を被った。
- ・予定していた5回のグリーンバナー訓練は実施できなかった。
- ・目標を達成するためのプログラムがそれに相応しいか疑問が残る内容があった。
- ・スカウトの興味による、バラエティーに富んだプログラムが不十分であった。
- ・県連盟が示した目標である長期野営が実施できなかった。
- ・今年度も1個班編成のため

武庫川第2団登録一覧表

年度	団登録人数				隊	班	ビーバー			カブ			ボーイ			ベンチャー			ローパー		
	団委員	指導者	スカウト	合計			指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計
前々年	16	21	44	81	5		4	6	10	8	10	18	8	9	17	3	6	9	1	13	14
前年	16	18	43	77	5		6	13	19	9	13	22	7	5	12	3	2	5	1	10	11
当年	12	19	46	77	5		5	7	12	9	20	29	4	6	10	2	2	4	1	11	12

武庫川第9団登録一覧表

年度	団登録人数				隊	班	ビーバー			カブ			ボーイ			ベンチャー			ローパー		
	団委員	指導者	スカウト	合計			指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計
前々年	10	10	22	42	5		2	1	3	4	5	9	3	6	9	1	8	9	0	2	2
前年	9	8	16	33	4		0	0	0	3	3	6	2	5	7	2	7	9	1	1	2
当年	9	8	16	33	4				0	3	2	5	2	5	7	2	5	7	1	4	5

武庫川第16団登録一覧表

年度	団登録人数				隊	班	ビーバー			カブ			ボーイ			ベンチャー			ローパー		
	団委員	指導者	スカウト	合計			指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計
前々年	8	5	27	40	5		1	5	6	2	10	12	2	7	9	0	4	4	0	1	1
前年	7	5	24	36	4		2	4	6	1	8	9	2	9	11	0	3	3	0	0	0
当年	6	8	24	38	4		3	5	8	2	9	11	3	6	9		4	4			0

武庫川第2団 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当業務	氏名	年齢	在任年数	団外役職等			研修歴					
					地区	県連	その他	隊指導者	団運営	他定型1	他定型2	定型外1	定型外2
団委員長	全般	小林弘	65	1				CS実	団研		コミ実		
副団委員長	庶務	佐藤忠司	70	3	事務長			BS研	団研				
副団委員長	プログラム	吉田正夫	55	3	スカウト委員長			BS実・VS実	団研				
団委員	育成会代表												
団委員	総務	大田和子	53	3	総務委員					講習会			
団委員	指導者	海野清	58	3	指導者委員			CS研					
団委員	進歩	糸井元雄	61	3									
団委員	健安	生沢雅子	47	3									
団委員	財政	村山源治	70	3	財政委員					講習会			
団委員	無任	藤山一郎	68	3				BS研					
団委員	無任	大坂健二	58	3				CS研					
団委員	無任	坂崎保志	72	3				BS実			コミ実	LTC	
RS隊長	全般	増田憲一	43	3				BS実					
VS隊長(兼任)	全般	吉田正夫	55	3	スカウト委員長			BS実・VS実	団研			ハイク研	キャンプ研
VS副長	プロ	山本正美	48	3				BS研					
BS隊長	全般	本田正隆	56	3				BS実				ハイク研	
BS副長	管理	山下康治	38	3				BS研					
BS副長	プログラム	勝井博義	25	3						講習会			
CS隊長	全般	川上正敏	32	3				CS研					
CS副長	プログラム	松下恵美	48	3						講習会			
CS副長	プログラム	丹沢真志	23	3						講習会			
CS副長	庶務	丸山啓太	31	3						講習会			
DL	1組	市山正子	39	3						講習会			
DL	2組	岩田慶子	37	1						講習会			
DL	3組	市川晴子	40	1						講習会			
BV隊長	全般	右田孝子	60	3				BVS実・CS研			コミ実		
BVS副長	プログラム	本田由美	50	3				BVS研					
BVS副長	プログラム	橋口昭	52	3				CS実・BVS研		コミ実	ALTC		
BVS副長	庶務	黒木義孝	51	3						講習会			
BVS補助者		片山芳子	34	1						講習会			
BVS補助者		樽谷元子	38	1						講習会			

武庫川第2団の情報

1. 武庫川第2団は一昨年、近隣3コ団が統合して再編された団である。地区コミッションナーが、第2団の団委員から次のような話を聞いた。
 「私の団で新しく団委員長になられた方は過去に各隊の隊長を務められた経験豊かな方です。副団委員長であった最近の2年間はビーバー隊の支援と改革に尽力され、ビーバースカウトは一昨年の年度末には20名、昨年の年度末は19名と、大幅に増加し、それに伴いカブスカウトは20名に増えました。今年度団委員長に就任されたのを契機に3カ年計画を打ち出し、スカウト数5割増と財政基礎の確立、指導者の資質の向上を目指そうとされています。この計画は、形の上では団委員会を中心に企画され、団会議の了承を得て実施されるのですが、団委員や隊長には団委員長の考えを確認したり、批判したりする力がなく、事実上、団委員長の意見が全て通っている状況です。また具体的な方策は隊指導者にかなり負担になると考えられます。団委員長がせっかくなかなか心配なのです。」
2. 地区コミッションナーの指示を受け、団担当コミッションナーが武庫川第2団の団会議を訪問した。
 団会議での議題の一つは3カ年計画の立案企画の経緯や、計画の詳細が団委員長から説明があった。
 また、現在のビーバー隊、カブ隊の状況を踏まえた、現況隊員数が少ないボーイ隊の複教班実現やベンチャー隊の見込等の説明があったが、過去のスカウト少教で苦しんだ経緯から抜け出せず、半信半疑で聞いていた。
3. 団担当コミッションナーの武庫川第2団団会議での評価
 「日ごろの隊運営ご苦労様です。3カ年計画を実施されていることには感心しております。ただあまり難しく考えずにもっと気楽に実行してください。相互理解に努めチームワークを発揮してお進みください。」
4. 団担当コミッションナーが、武庫川第2団の団会議を訪問したときの話を地区コミッションナーに報告。
 ・ 第2団は明確な目標を持って3カ年計画を立案しているが、現状把握、現状分析、問題点抽出等の手法が高度で難しく、団内全ての人が理解できているかは疑わしい。
 ・ 隊指導者の関心は低そうである。
 ・ 団会議では、団委員長が一人で発言し、他の人は聞くだけで質問も出ない。
 ・ 担当コミッションナーとして、地区では珍しい3カ年計画実行の推移を見守りたい。
5. 会議
 団委員会：毎月1回定例(団会議2~4日後)、団会議：毎月1回定例

当年度継続登録時 団審査チェック表 No.1

※各項目にご記入の上、団体当コミッションナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください
 ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区
 団名 武庫川第2団
 記入者氏名 小林弘

■スカウト・指導者数

団員名	スカウト		班・組数		隊指導者数		団委員数		その他	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
BVS	5	4	4	2	2	4	10	2	補助者	
CS	13	7	3組	3	1	1			テラリダー	2
BS	3	2	1班	5	1	1				3
VS	1	1	1	1	2					
RS	8	3	3	1						

■隊の活動

隊名	隊集会	班・班集会	3泊以上野営・2泊以上合営	保護者会	ハイク	キャンプ
BVS	3回/月	月泊	月泊	4回/年	月泊	月泊
CS	2回/月	2回/月	月泊	1回/年	月泊	月泊
BS	1回/月	2回/月	月泊	1回/年	月泊	月泊
VS	2回/月	主要活動	六甲全山縦走・野外料理大会	回/年	2回/年	6回/年

■回会議・回委員会

回会議	開催について	出席率	前年開催数
定期・不定期	開催について	出席率	前年開催数
定期開催は	単独開催・同時開催・内容による	約 65%	12回
不定期開催は	7月ごと		
回委員会	定期・不定期	約 50%	12回
定期開催は	単独開催・同時開催・内容による		
不定期開催は	7月ごと		

※設置している回委員（該当に○）
 進歩・指導者養成・健康安全・財政・組織拡張・野営行事
 その他（体験大隊を含め団行事については実行委員会を設置）

■団としての活動

回集	地域活動への参加	団の年間予算
回集	地域活動への参加	団の年間予算
具体的内容	具体的内容	総予算 200,000
体験入隊3回/年・スカウト祭1回/年	市民祭り・地域ふれあいまつり	その他
スカウトの日1回/年・餅つき大会	夜回り・老人ホーム慰問	
入隊入連式 BP祭	10回/年	

当年度継続登録時 団審査チェック表 No.2

※各項目にご記入の上、団体当コミッションナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください
 ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区
 団名 武庫川第2団
 記入者氏名 小林弘

■団委員会構成メンバーの年齢と継続年数

団委員長		副団委員長		副団委員長		副団委員長	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
65	1	70	6	56	2		
性別	女	性別	女	性別	女	性別	女
1	1	1	1	1	1	1	1

■各隊長の年齢と継続年数

ビーバー隊		クラブ隊		ボーイ隊		バンチャード	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
65	8	32	6	56	2	55	10
性別	女	性別	女	性別	女	性別	女
1	1	1	1	1	1	1	1

■団委員会構成メンバーの研修歴

講習会	団委員長 特修所	団委員長 研修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴
講習会	1	2	2	1	なし
団委員長					
副団委員長		2	1	1	
団委員	2		3	1	3

■各隊指導者の研修歴

講習会	当該 研修所	当該 実修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴
講習会					
BVS隊長	1	1			なし
CS隊長					
BS隊長		1			
VS隊長		1			
RS隊長				1	
BVS副長	1	2			
CS副長	3				
BS副長	1			1	
VS副長				1	
RS副長					
BVS・他指導者	2				
CS・他指導者	3				
BS・他指導者					
VS・他指導者					
RS・他指導者					

当年度継続登録時 団審査チェック表 No.3

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川第2団
記入者氏名 小林弘

■カプスカウトの状況

◆完修章の修得状況

修得者	未習得者
つぎ	8
しか	3
くま	3

◆上進対象スカウトの状況

上進対象スカウト人数	人数	
	男子	女子
上進したスカウト人数	1	1

◆集会の回数と出席率

集会	野外		屋内	
	回数	出席率	回数	出席率
隊集会	8	90	2	90
結集会	22	85	2	85
組長集会				

◆上進章集会の状況

野外	活動回数		活動期間	
	室内	何ヶ月	何ヶ月	
1	1	6		

■ボーイスカウトの状況

◆進級状況

ボーイスカウト	初級	2級	1級	菊
小5	1			
小6	1	1		
中1		1		
中2		1		
中3		1		

◆中学3年の最終進級人数

ボーイスカウト	人数
初級	1
2級	
1級	
菊	

◆上進対象スカウトの状況

上進対象スカウト人数	人数	
	男子	女子
上進したスカウト人数	0	1
上進したスカウト人数	0	0

◆上級班長、隊付の人数

上級班長	隊付の人数
BS VS	1
BS VS	

◆集会の回数と出席率

集会	野外集会		屋内		キャンプ		ハイキング	
	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率
隊集会	16	50	6	50	6	50	6	50
班集会			23	60				
班長会議								
班長訓練								

◆年間キャンプの回数

隊キャンプ	1泊	2泊	3～4泊	5～6泊	7泊以上	移動キャンプ
隊キャンプ	3					

◆年間の進級章の取得数

ターゲット	取得数
ターゲット	6
マルチ	3
対象加入数	5

◆リーダー会議の状況

リーダー会議	BVS	C/S	BS	V/S	R/S
リーダー会議	12	10	4	6	
その他会議	6	4	2	6	

当年度継続登録時 団審査チェック表評価表

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※ご記入いただきました内容からの、地区コミッショナー、団担当コミッショナーの団、隊の評価

地区名 武庫川第2団
団名 武庫川第2団
団担当コミッショナー

◆評価できるところ

団 団委員会、団会議が定期的に開催されている。年間計画が確立されている。地域活動に団として積極的に参加している。WB実修所終了している指導者が多数在籍している。多数のビーバースカウトの新規獲得

カブ隊 複数組が編成されている。組集会在実施されている。組集会、隊集会の出席率がよい90～95%

ボーイ隊 地域活動に積極的に参加している。仲間意識が強く、年下のスカウトの面倒見がよい。

◆問題と思われるところ

団 諸活動への指導者参加が確定せずに不安定である。BS、VS年代のスカウト数が少ない。指導者の研修意欲が乏しい。特に定型外訓練。

カブ隊 チャレンジ章取得数が少ない、意識が低い。集会に参加できる指導者が不安定である。

ボーイ隊 中学3年で初級のまままでの退団者がいる。ターゲットハットの取得数が少なく、進級意欲が低い。集会出席率が40～50%と低い。

◆指導すべき課題

団 団委員会の集積率が低いので、改善するように指導。次期若い世代指導者の発掘を進めるように助言。

カブ隊 カブ指導者の資質向上のため、WB終了の呼びかけ。

ボーイ隊 集会への出席率上げるように指導。パトローリングの確立。

武庫川第9団の情報

1. 武庫川第9団は地域の理解と支援を得て財政を確立している豊かな団である。指導者の研修費、登録費は団が負担し、スカウトの制服は全て貸与している。しかしながら、2年前からBVS隊が削減しているし、他の隊も人数的に振るわない。この団も他の多くの団と同じようにスカウト減少に悩まされてきたのであるが、その中でも比較的減少の幅が少なく、健闘してきた実績がある。今日の状況に至った大きな原因のひとつは、ある隊指導者の保護者とのコミュニケーションの失敗があげられる。このできごとにより数人のスカウトを一時に失い、併せて保護者の信頼を失ってしまった。
2. コミュニショナーの支援を仰ぐまでもなく、団委員長をはじめ、団では保護者の信頼の回復を目指し、様々な対策を講じてきたがその効果ははかばかしくなく現在のスカウト数に甘んじている。
3. 保護者会
 - 一昨年の保護者会では基本的なスカウト活動を実施するために近隣2個団とCS隊およびBS隊の合同プログラムの実施を打ち出した了承された。しかし2年間合同プログラムを展開した結果がスカウト増の結果が得られなかった。
 - 昨年の保護者会では2年間の結果について報告した。併せて、今年度については親団との連携を計画して承されたが、現在まで良い結果を得られていない。
4. 今後の方向性
 - ・ 地域に認められ、財政的に豊かな団であるので、何とかスカウトを増やし団の存続を図りたい。
 - ・ 親団に吸収併せられる。以上ふたつの案の狭間で揺れている。
5. 会議
 - 団委員会：毎月1回定例、団会議：毎月1回定例

当年度 BS隊 年間プログラム テーマ「チャレンジ」

兵庫連盟武庫川地区第2団ボーイ隊

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
テーマ	スカウト精神	キャンピング	健康と発達	キャンピング	ハイキング	冒険	ハイキング	ハイキング	社会生活	追跡	スカウト精神	一年間の総まとめ
集 会	04 入隊上進式 11 地区活動推進大会 23 第40回団連活動推進大会	09 体験入隊 22~23 15NJキャンプ 30 スカウト祭	25 15NJ集会	17~18 15NJキャンプ	02~08 第15回日本ジャンボリー	12 スカウトの日	02~03 市民祭 城内地域開放運動会	07 体験入隊 21 六甲金山縦走	05 長安祭もちつき大会 19 もちつき大会 28~29 夜回り	01 初詣	20 B.P.祭	13 体験入隊
	隊集会	01~02 歓迎キャンプ	13 野外料理 20 ハイキング	17~18 隊キャンプ	22 自転車ハイク	18~19 上進軍キャンプ	31 訓練ハイク	07 訓練ハイク 14 訓練ハイク(予備)		16 雪山ハイク	06 スケート	19~21 春期キャンプ
	班集会	04, 11	16	12	11, 25	8, 29	5	28	12	9, 30	13	6
GB訓練												
訓 練 目 標	隊	基本動作 メンバーシップ A1 ロープ結び E5	キャンプクラフト E3 燃料 E4	安全 B2 ハイキング企画 C1	野外工作 キャンプ企画 E1 たき火 E6	読図 C2 自転車 C5	キャンプファイア F2 バイオニアリング F5		近隣奉仕 G3	観察 D1 森林 D4	B-P A8	一年間の総まとめ
	班											
	個人											
進 歩 課 目	小6											
	中1											
	中2											
	中3											

■スカウト・指導者数

団員種別	スカウト		班・組数		隊指導者数		団委員長数		その他	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
団員総数							6	3		
BVS	1	0	1	0	2	0			補助者	
CS	3	1	2	1	3	1			テカダ-	0
BS	3	2	1	3	1	1			隊付	3
VS	3	2	2	1	1	1				
RS	4	0	1	0	1	0				

■隊の活動

隊集會	組・班集會	3泊以上野営・2泊以上舎営	保護者会	ハイク	キャンプ
BVS	月泊	月泊 (香泊はしない)			
CS	2月泊	8月2泊 月泊	2回/年	4回/年	1回/年
BS	3月泊	5月2泊 月泊	5回/年	4回/年	4回/年
VS	1	1	2回/年	1回/年	1回/年

※設置している団委員長(該当にO)
 定期・不定期 (単独開催・同時開催・内容による) 出席率 前年開催数
 定期開催は 17月ごと 約 85 % 12回
 定期・不定期 (単独開催・同時開催・内容による) 約 65 % 12回

※設置している団委員長(該当にO)
 定期・不定期 (単独開催・同時開催・内容による) 出席率 前年開催数
 定期開催は 17月ごと 約 85 % 12回
 定期・不定期 (単独開催・同時開催・内容による) 約 65 % 12回

その他 (広報・会計・総務・国際)
 健康安全・財政・組織拡張・野営行事

■団としての活動

団集會	地域活動への参加	団の年間予算
具体的内容 ・入隊・上進式・体験入隊・ハザー ・BP祭・餅つき・全山縦走・夜警 13回/年	具体的内容 ・奉仕(清掃・募金・贈書者施設) ・県民交流活動・新能松明・GS共催活動 21回/年	総予算 1039756円 その他

武庫川第9団 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当業務	氏名	年齢	在任年数	団外役職等			研修歴						
					地区	県連	その他	隊指導者	団運営	他定型1	他定型2	定型外1	定型外2	
団委員長	全般	山田孝雄	68	6	野行委員長				団研					
副団委員長	庶務	三田三郎	72	6					団研					
副団委員長		奈良郁夫	59	5						講習会				
団委員	進歩	岸山太郎	63	8					団研					
団委員	指導者	桑江博隆	58	10				CS研						
団委員	健康安全	草川満子	♀61	8						講習会				
団委員	財政	谷垣康江	♀61	3						講習会				
団委員	組織拡張	村田茂	70	9						講習会				
団委員	野営行事	神部一郎	68	7						講習会				
団委員		山本太郎	52	2						講習会				
団委員		神戸一郎	56	1						講習会				
RS隊長	全般	増本清太	72	4				BS研						
VS隊長	全般	吉川寛	63	13				CS実・BVS研						
VS副長	プロ	山本正美	48	10				BS研						
BS隊長	全般	高橋健介	33	4				BS研・CS研						
BS副長		山下康治	38	11						講習会				
BS副長		勝山広重	25	3						講習会				
CS隊長	全般	川上正敏	48	2				BS研						
CS副長	プログラム	松下恵美	♀40	10				CS研						
CS副長	プログラム	丹沢真志	23	2						講習会				
CS副長	庶務	丸山啓太	31	5						講習会				
DL	1組	市山正子	♀39	3										
DL	2組	岩田慶子	♀37	1										
DL	3組	市川晴子	♀40	1										
BV隊長	全般	右田孝子	♀60	12										
BVS副長	プログラム	本田由美	♀50	10										
BVS副長	プログラム	橋口昭	52	9										
BVS副長	庶務	黒木義孝	51	2										
BVS補助者		片山芳子	♀34	2										
BVS補助者		樽谷元子	♀38	1										

団名 武庫川第9団
 記入者氏名 島崎洋司

■委員会構成メンバーの年齢と継続年数

委員長		副委員長		副委員長		副委員長		委員長 (人数)	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	男	女
68	6	72	6	59	5		6	6	5
性別		性別		性別		性別		性別	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1		1		1					

■各隊長の年齢と継続年数

ビーバー隊		カブ隊		ボーイ隊		ベンチャー隊		ローパー隊	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
60	12	48	2	33	4	63	13	72	4
性別		性別		性別		性別		性別	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1		1		1		1		1	

■委員会構成メンバーの研修歴

	講習会	団委員長 特修所	団運営 研修所	他WB 研修所	他WB 実修所	他WB 実修所	研修歴 なし
講習会	講習会						
団委員長	1	1					
副団委員長	6	1	1	1			

■各隊指導者の研修歴

	講習会	当該 研修所	当該 実修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴 なし
BVS隊長						1
CS隊長				1		
BS隊長		1		1		
VS隊長				1	1	
RS隊長				1		
BVS副長						3
CS副長	2	1				
BS副長	2					
VS副長				1		
RS副長						
BVS・他指導者						
CS・他指導者						
BS・他指導者						
VS・他指導者						
RS・他指導者						

団名 武庫川第9団
 記入者氏名 島崎洋司

■カフスカウトの状況

修得者	未習得者
うさぎ	
しか	2
くま	

◆上進対象スカウトの状況

人数	人数	
	男子	女子
上進対象スカウト人数	0	1
上進したスカウト人数	0	1

◆上進章集会の状況

活動回数	活動期間
野外	室内
何ヶ月	

■ボーイスカウトの状況

進級状況	ボーイスカウトの状況	
ボーイカブ	初級	2級
小5	1	菊
小6		
中1	2	
中2	2	
中3		1

◆中学3年の最終進級人数

ボーイカブ	人数
初級	
2級	
1級	
菊	1

◆上進対象スカウトの状況

人数	人数	
	男子	女子
上進対象スカウト人数	1	
上進したスカウト人数	1	

◆上級班長、隊付の人数

上級班長	隊付
BS VS	BS VS
1 0	3

◆集会の回数と出席率

回数	野外集会		屋内		キャンプ		ハイキング	
	出席率	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率	回数
隊集会	20	80%	5	95%	4	90%	4	85%
班集会								
班長会議			2	80%				
班長訓練								

◆年間キャンプの回数

1泊	2泊	3～4泊	5～6泊	7泊以上	移動キャンプ
1	2				
1					

◆年間の進級章の取得数

カブ	ボーイ	ベネ	ローパー	BVS	CS	BS	VS	RS
20	9	6						
リーダー会議	10	12	2	0				
その他会議	10	3	6	0				

◆リーダー会議の状況

	BVS	CS	BS	VS	RS
リーダー会議	10	12	2	0	
その他会議	10	3	6	0	

当年度継続登録時 団審査子エック表評価表

※ご記入いただきました内容からの、地区コミッショナー、担当コミッショナーの風、隊の取組

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区
 団名 武庫川第9団
 地区コミッショナー
 担当コミッショナー

◆評価できるところ

団・地域に密着した活動。近隣団との連携で合同活動を実施している。体験活動を実施している。

カブ隊 ・定期的な隊集會。近隣団との合同活動を実施している。野外活動が多い。

ボーイ隊 ・野外活動が活発。指導者が、充実している。(上班・隊付)

◆問題と思われるところ

団 ・スカウト数が少ない。ピーバー隊がない。合同活動の成果が見られない。問題解決検討必要。

カブ隊 ・クリアー章の取得が出来ていない。スカウト数少ない。隊長がWB終了していない。

ボーイ隊 ・スカウト数が少ない。班制度を実施出来にくい。4拍以上のキャンプがない。

◆指導すべき課題

団 ・合同活動を具体的に推進し、早急のスカウト増の方策をたてる。ピーバー隊の復活を目標に。

カブ隊 ・スカウト増の活動再評価を団全体ですすめる。合同活動の実施の継続。

ボーイ隊 ・団の支援をうけながら、長期野営の実施。合同活動の具体的なプログラム実施方法。

BS 隊 当年度 年間プログラム (当年4月1日～翌年3月31日)
 目標 「個人のスキルアップと班活動の充実」
 テーマ 「様々な交流」

月	日	曜日	主 な 活 動	スカウト関係年間行事	
				団内	地区・県連・日連
4	3	日	入隊式	3 (日) 入隊式	
	10	日	地区 60周年オープンニングセレモニー	29 (祝) 団育成総会	
	16-17	土・日	班キャンプ (社家郷山キャンプ場)		
	23-24	土・日	G B 訓練キャンプ(知名湖)		
	29	祝	サイクリング準備集會		
			班集會 (班キャンプ報告書作成)		
5	8	日	サイクリング (神戸南京街)		海外派遣準備集會
	15	祝	技能賞講習會 (文化財保護章)		
	22	日	サイクリング予備日		
	29	日	体験入隊		
6	12	日	風と遊ぼう 梶田公園		
	19	日	隊集會 (進級プログラム)		海外派遣準備集會
	26	日	工作		
7	3	日	ユニセフ募金		海外派遣準備集會
	17-18	日・祝	地区キャンプ訓練キャンプ		
	24	日	富松神社新技能		
8	3-7	水・日	地区キャンプ お別れキャンプ		地区キャンプ 海外派遣 (台湾)
9	19	日	立花まつり (園田学園女子大学)		12 (日) デンリーダー講習會
	25-26	土・日	新入隊員歓迎キャンプ		19 (日) 立花祭り 26 (日) 指導者講習會
10	2	土	縦走 夜間訓練ハイキング	10(土)~11(日) 富松神社祭	16-17(土・日) CS 隊 都市交歓 滋賀県
	(28)	土	(縦走 夜間訓練ハイキング予備日)	25 (日) 福成園奉仕	24 (日) 市民まつり
	24	日	縦走 昼間訓練ハイキング		
	31	日	福成園奉仕		
11	7	日	(縦走 昼間訓練ハイキング予備日)		
	(14)	日	若しくは隊集會		
	21	日	(隊集會 予備日)		
	28	日	六甲山金山縦走		
	28	日	14 団発団 60周年記念式典参加		
12	5	日	ユニセフ募金		
	19	日	クリスマス会 (13.15 合同)		
	23	祝	もちつき 富松神社		
	28-30	水・木	年末夜警奉仕		
1	5	水	班集會 (ボーリング 塚ロビンボール)		
	23	日	スケート(尼崎スポーツの森)		
	29	土	G B 集會(耐寒ハイキングについて)		
2	13		耐寒ハイキング(六甲山)		
	19-20		スキー遠征(13.21.合同 ハチ高原)		
3	19-20	土・日	春キャンプ (13.15 合同 甲山)		
	21	祝	団バザー	団バザー 明和幼稚園	
	27	日	班キャンプ企画書作成		
	30	水	班集會 (班キャンプ企画書作成)		

武庫川第16団 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当業務	氏名	年齢	在任年数	団外役職等			研修歴						
					地区	県連	その他	隊指導者	団運営	他定型1	他定型2	定型外1	定型外2	
団委員長	全般	前川慶介	51	6				BS研・VS研	団研					
副団委員長	庶務	大平正勝	49	3				BVS研						
団委員	進歩	佐田保	63	8					団研					
団委員	野営行事	吉村健太	58	10							講習会			
団委員	健康安全	田端義一	61	8							講習会			
団委員	組織拡張	丸山聖子	56	3							講習会			
団委員		甲山一善	46	10				CS研・BS研			CS実			
団委員		神谷拓也	68	10							講習会			
VS隊長(兼任)	全般	前川慶介	51	6				BS研・VS研	団研					
BS隊長	全般	西田利一	50	7				BVS研・CS研			BVS実	コミ研		
BS副長(兼任)		吉村健太	58	10							講習会			
BS副長(兼任)		前川慶介	51	6				BS研・VS研	団研					
CS隊長(兼任)	全般	甲山一善	46	10				CS研・BS研			CS実			
CS副長(兼任)		大平正勝	49	3				BVS研						
CS副長		丹沢真志	23	2										
BVS隊長		土井正文	46	3										
BVS副長		森田勝也	52	3										

武庫川第16団の情報

1. 団の概要

武庫川第16団は地区南部の比較的農村の雰囲気を残した自然豊かな地域である。地域の有力な寺院が育成会の主体となり、檀家の行事等を通して資金的支援があり、財政的には一応確立している。

また、発団40年を超える歴史があり、過去には地区委員会にも多くの指導者を送りこんだ有力な団であった。
2. 団の状況

2年前からRS隊が消滅している。他の隊もスカウトが人数的に振るわない。最も深刻なのは指導者が不足していることである。若い指導者が育たず、効果的な世代交代が果たせなかった。

現状、団委員長がVS隊長やBS副長を兼務しなければならぬほど苦しい隊の経営である。
3. 団の努力

団委員長の指導のもと、スカウト募集のプログラムや地域イベントへの参加等、現状打開に努力しているが効果が上がっていない。

団委員長や指導者は、団の立て直しを懸命に訴えているが、効果的な施策を打ち出せずにいる。

このような状況の中、各隊は近隣団と合同プログラムを実施するなど、それぞれ隊運営を実施している。
4. コミッショナーの支援

過去数回にわたって団担当コミッショナーが団訪問を実施している。

団の現状把握や分析、問題点抽出はできているが、原因追求や解決策立案まで議論が噛み合わず暗礁に乗り上げ、効果的な支援ができないままになっている。
5. 今後の方向性

地域に認められ、一応財政確立ができた団であるので、何とかスカウトを増やし団の存続を図りたいと願っている。
6. 会議

団会議：毎月1回、 団委員会：不定期（昨年度実施期：2回）

当年度継続登録時 団審査子エック表 No.1

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区
※各項目にご記入の上、担当コミュニティコーディネーターとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川 第16団
記入者氏名 前川 慶介

■スカウト・指導者数

団本部 委員会	スカウト		班・組数		隊指導者数		団委員数		その他	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
BVS	6	0	2	0	6	3	1	0	補助者	1
CS	3	5	1	1	3	0	0	0	テカガ-	0
BS	6	3	1	3	0	0	0	0		
VS	3	0	1	0	0	0	0	0		
RS										

■隊の活動

隊集会	細・班集会	3泊以上野営・2泊以上舎営	保護者会	ハイク	キャンプ
BVS	2	月泊 月泊 (香泊はしない)	2回/年		
CS	1	月泊 月泊 8月1泊 月泊	3回/年	0回/年	1回/年
BS	2	7月 2泊 月泊 8月 1泊 3月 1泊	1回/年	5回/年	3回/年
VS	1	富士山登山	0回/年	4回/年	3回/年

■団会議・団委員会

団会議	定期・不定期 定期開催は 17月ごと	開催について 単独開催・同時開催・内容による	出席率	前年開催数
団委員会	定期・不定期 単独開催・同時開催・内容による	約 90 %	約 30 %	12回
※設置している団委員(該当にO)	定期開催は 7月ごと			2回

進歩・指導者養成・健康安全・財政・組織拡張・野営行事
その他(広報・会計)

■団としての活動

団集会	地域活動への参加	団の年間予算
具体的内容 ・上達式・体験入隊・赤い羽根募金 ・B.P.祭・歳末助け合い募金	具体的内容 ・夏まつり ・尼崎市10万人クリーン作戦	総予算 277590円 その他
6回/年	5回/年	

当年度継続登録時 団審査子エック表 No.2

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区
※各項目にご記入の上、担当コミュニティコーディネーターとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川 第16団
記入者氏名 前川 慶介

■団委員会構成メンバーの年齢と継続年数

団委員長	副団委員長		副団委員長		副団委員長		副団委員長	
	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
51	6	49	3				7	1
性別	女	性別	女	性別	女	性別	男	女
1	男	1	男	1	男	1	男	女

■各隊長の年齢と継続年数

BVS隊長	CS隊長		BS隊長		VS隊長		RS隊長	
	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
46	3	46	10	50	7	51	6	
性別	女	性別	女	性別	女	性別	女	性別
1	男	1	男	1	男	1	男	女

■団委員会構成員の研修歴

講習会	団委員長 特修所		団運営 研修所		他WB 実修所		他WB 研修所		研修歴	
	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
4			1	1	1	1				

■各隊指導者の研修歴

講習会	当該 研修所		当該 実修所		他WB 実修所		他WB 研修所		研修歴	
	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
BVS隊長	1	1	1	1						なし
CS隊長	1	1	1	1	1	1	2	1		
BS隊長	1	1	1	1	2	2				
VS隊長	1	1	1	1						
RS隊長	1	1	1	1						
BVS副隊長	1	1	1	1						
CS副隊長	1	1	1	1						
BS副隊長	1	1	1	1						
VS副隊長	1	1	1	1						
RS副隊長	1	1	1	1						
BVS・他指導者										
CS・他指導者										
BS・他指導者										
VS・他指導者										
RS・他指導者										

当年度継続登録時 団審査子エック表 No.3

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区
※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川 第16団
記入者氏名 前川 慶介

◆カブスカウトの状況

完修章の修得状況	修得者	未習得者
うさぎ	3	
しか	5	
くま		

◆上進対象スカウトの状況

人数	男子	女子
	0	0
上進対象スカウト人数	0	0
上進したスカウト人数	0	0

◆集会の回数と出席率

集会	野外	屋内	
	回数	回数	出席率
隊集会	16	80%	
組集会	11	80%	
組長集会	0		

◆上進章集会の状況

活動回数	活動期間	
野外	室内	何ヶ月

◆ボーイスカウトの状況

◆進級状況	ボーイカブ	初級	2級	1級	菊
小5					
小6		5			
中1					
中2		2			
中3			2		

◆中学3年の最終進級人数

ボーイカブ	
初級	2
2級	
1級	
菊	

◆上進対象スカウトの状況

人数	男子	女子
	1	1
上進対象スカウト人数	1	1
上進したスカウト人数	1	1

◆上級班長、隊付の人数

上級班長	隊付
BS VS BS	VS
0 0 0 0	0 0

◆集会の回数と出席率

野外集会	回数	出席率	屋内	回数	出席率	ハイキング	回数	出席率
	20	70%	4	70%	3	80%	5	75%
隊集会								
班集会								
班長会議								
班長訓練								

◆年間キャンプの回数

1泊	2泊	3～4泊	5～6泊	7泊以上	移動キャンプ
3					

◆年間の進級章の取得数

カブ	4
マター	1
対象カブ人数	3

◆リーダー会議の状況

リーダー会議	BVS	CS	BS	VS	RS
0				0	0
その他会議	0			0	0

当年度継続登録時 団審査子エック表評価表

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区
※ご記入いただきました内容からの、地区コミッショナー、団担当コミッショナーの団、隊の評価

団名 武庫川 第16団
地区コミッショナー
団担当コミッショナー

◆評価できるところ

団・地域に密着した活動。近隣団との連携で合同活動を実施している。育成会員の活用がある
カブ隊・隊集会・組集会の実施。近隣団との合同活動を推進している。野外活動が多い。
ボーイ隊・野外活動が活発。指導者が、充実している。

◆問題と思われるところ

団・スカウト数が少ない。女子指導者の活用。進歩・進級の理解。
カブ隊・クリアー章の取得が出来ていない。女子指導者がいない。上進章集会の開催がない。
ボーイ隊・班集会・班長会議・班長訓練が実施されていない。上級・隊付がいない。

◆指導すべき課題

団・指導者の研修への意識づけ。女子指導者の育成・発掘。ボーイ活動の基本知識の理解
カブ隊・カブブック活用の必要性。リーダーの配置、発掘。
ボーイ隊・班制度の理解と実施。近隣団との合同活動の具体的な推進。

当年度 ボーイ隊年間計画(当年4月～翌年3月) 武庫川第16団

月	テーマ	目標	日程	活動
4	光の路		4 11 25 29	上進式(団行事) 第59回地区活動推進大会 第15回日本ジャンボリー事前集会(参加者のみ) 第60回兵庫連盟活動振興大会
5	ハトローリング	班員としての役割に自覚を持ち、進級課題に自ら挑戦する意欲を持つ ・スカウトは誠実である ・スカウトは友情にあつい ・スカウトは礼儀だいたい	2-4 9 16 22-23	第1回キャンプ グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会・声屋兵カヤック 第15回日本ジャンボリー事前キャンプ(参加者のみ)
6	野山の行脚	初級章…6月に取得 2級章、1級章 …6月までに取得	6 20 27	班集会 班集会 第15回日本ジャンボリー事前集会(参加者のみ)
7	谷間のキャンプ		10 11 17 17-18 25 25	グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会 ボンブアィヤー(団行事) 第15回日本ジャンボリー事前キャンプ(参加者のみ) 班集会 第15回日本ジャンボリー事前集会(参加者のみ)
8	10種野営料理法	スカウト技能を体得し、スカウティングに自信を持つ ・スカウトは快活である ・スカウトは真業である	1-9	第15回日本ジャンボリー事前集会(参加者のみ) 班集会 第2回キャンプ
9	火を絶やすな		5 12 26	グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会 班集会
10	懐かしの森へ	より深くスカウティングの知識を得て、得意分野、興味あるものについて自ら視野を広げる ・スカウトは勇敢である ・スカウトは親切である	3 10 24	募金活動 班集会-六甲縦走訓練ハイク1 班集会-六甲縦走訓練ハイク2
11	あるけ		7 14 21	グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会-六甲縦走訓練ハイク3 六甲山全山縦走
12	平和の騎士	2級章、1級章、菊章 …12月までに取得	4 19 26	募金活動 もちつき(団行事) 班集会
1	Holdria Kuck	スカウト精神を理解して、スカウト技能の進歩、自分の成長を確認する ・スカウトは感謝の心をもつ	3 16 30	旗揚げ式(団行事) 班集会 班集会
2	世界の総長		6 20	グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会 BP祭(団行事)
3	この道を行く		6 19-21	班集会 第3回キャンプ 菊・富士スカウト市長顕彰

S 6 団の現状把握のための資料 (その2)

水道橋地区の概要 (当年4月1日)

※県連総登録数 指導者900人 RS120人 VS260人 BS600人 CS730人
BVS520人 合計 3130人

1. 地区所属団 水道橋第1団、第2団、第3団
2. 地区役員構成 地区協議会長 1、副会長 1、地区委員長 1、副委員長 1、組織拡張委員長 1、進歩委員長 1、指導者養成委員長 1、野営行事委員長 1、健康安全委員長 1、財政委員長 1、地区コミッションナー 1、地区副コミッションナー 2、団担当コミッションナー 1 (現在地区コミが兼務のため、団訪問等は副コミが実施)
3. 地区協議会 年1回 (地区総会を兼ねて開催) 出席率75%
4. 地区委員会 年6回 (2ヶ月に1回開催) 地区役員+各団団委員長 (参席) 役員出席率 80% 団委員長出席率 90%
5. 指導者研修 (定型訓練) の開催状況
県連主催 ウッドバドバッジ研修所BS課程 年1コース
ウッドバドバッジ研修所CS課程 年1コース
ウッドバドバッジ研修所VS課程 隔年1コース
ウッドバドバッジ研修所BVS課程 隔年1コース
団運営研修所 3年ごとに1コース
- 地区主催 指導者講習会 毎年1コース (他地区主催年4コース)
ただし、前年度、当年度は参加者少なく中止した。
6. 指導者研修 (定型外) の開催状況
県連主催 野営法研修会 (年2回)
進歩研究会 (各部門年1回)
団運営研究会 (年1回)
技能研究会 (年1回)
地区主催 各部門ラウンドテーブル (隊長、副隊長対象) 年2回
VS部門 出席率 1団 100% 2団 50% 3団 0%
BS部門 出席率 1団 100% 2団 50% 3団 0%
CS部門 出席率 1団 100% 2団 50% 3団 0%
BV部門 出席率 1団 100% 2団 50% 3団 0%
7. 県連主催行事
県キャンボリー 4年に1回開催 (3年前に開催された)
スカウト展 隔年1回開催 (前年に開催された)
クラブラリー 4年に1回開催 (2年前に開催された)

8. 近年の登録数の推移
水道橋第1団

	BVS	CS	BS	VS	RS	指導者	合計
前々年	16	28	24	14	9	26	117
前年	15	25	22	16	11	25	114
当年	17	21	20	15	13	25	111

水道橋第2団

	BVS	CS	BS	VS	RS	指導者	合計
前々年	6	14	8	4	2	15	49
前年	5	12	10	4	1	14	46
当年	3	12	8	2	0	15	40

水道橋第3団

	BVS	CS	BS	VS	RS	指導者	合計
前々年	9	24	17	6	1	21	78
前年	12	22	14	7	2	14	71
当年	10	12	9	5	1	12	49

9. 広報活動

地区としては特に広報活動を実施していない

10. 地区及び各団の環境と概況

(1) 県内では一番加盟員数の少ない地区。1小学校校区に1個団。

(2) 第1団

町の中心街を活動エリアとしている。古い地域なので近所づきあい等も田舎風。それだけに相互扶助の気質あり。当地区の中心的存在の団。活動の場所が得にくいのが団全体の悩み。現在対象年齢児童の加盟比率は6%。

団委員会の開催状況：毎月1回定例（団会議1週間後）、団会議：毎月1回定例

(3) 第2団

30年前、第1団から分封した。中心街を取り巻く住宅地域を主なエリアとしている。第3団のエリアと隣接している。古くからの住民と新しい住民が混在している。対象年齢児童は比較的少ない。現在対象年齢児童の加盟比率は2%。

団委員会の開催状況：随時（平成17年度実績は年3回）、団会議と合同

(4) 第3団

住宅開発により新しくできた分譲地周辺を基盤として、自治会が育成団体となり20年前に発団した。団委員長は自治会長が20年間務めている。分譲地第3世代がスカウト通齢期に差し掛かっており、対象年齢児童は比較的多い。現在対象年齢児童の加盟比率は4%。

団委員会の開催状況：随時（平成17年度実績は年5回）、団会議と合同

※対象年齢児童はBVS、CSの合計数をそれぞれの小学校校区1年生～6年生の生徒数で割って算出している。

その他の情報等（当年度5月頃）

1. 地区副コミッションナー（水道橋第1団所属）が、ある小学校のPTA関係者（水道橋第3団の地域に住む人）の、以下のような話を耳にした。
 - ・ボーイスカウトは最近、活動がないらしい。
 - ・指導者が親子なので、保護者が何も知らないうちに活動が中止になっていたりする。
 - ・もう辞めさせて、スポーツ少年団に入れようかと思っている。
2. 地区副コミッションナー（水道橋第1団所属）が、水道橋第3団のある団員から相談を受けた。
 - ・プログラムは2ヶ月に1回程遊園地や近くの公園にスカウトたちを連れて行っているだけ。
 - ・プログラムの打合せも親子でやっているので回りの保護者は何もわからない。
 - ・前まではデンリダーがいたが、子どもといっしょに退団。
 - ・組の活動は全くない。
 - ・団委員長も隊長を注意して隊長に辞められたら大変だと思っている。また2ヶ月に1回活動があるから良いと思っている。
3. 地区副コミッションナー（水道橋第1団所属）が、水道橋第2団の団委員会を訪問したときの話を地区副コミッションナーに報告。
 - ・水道橋第2団では今年はスカウト募集はしないこととしている。理由は去年兄弟で2人入団し、これ以上スカウトが増えたら指導者が大変だから。またピーパー隊長は団委員との兼任だから忙しい。サブ隊長は、もう私も年だからと笑って終わる。団委員長や他の団員も同意。
4. 水道橋第1団の団委員会での話
 - ・団委員長よりここ3年はスカウト数が微減傾向であることから、団員へ話しのできる保護者に何か不満などはないか、期待することはないかそれぞれの立場で尋ねてほしいと要望があった。

		前々年度		前年度		当年度			
	年齢	氏名	登録状況	年齢	氏名	登録状況	年齢	氏名	登録状況
BVS	1	小1	鈴木	小1	吉田	ビークレバー	小1	竹崎	ビークレバー
BVS	2	小1	岡村	小1	大竹	ビークレバー	小1	藤原	ビークレバー
BVS	3	小1	山田	小1	山川	退団	小1	種田	ビークレバー
BVS	4	小1	越智	小1	中村	ビークレバー	小1	石橋	ビークレバー
BVS	5	小1	菅川	小1	坂本	ビークレバー	小1	富田	ビークレバー
BVS	6	小1	水野	小1	住吉	ビークレバー	小1	吉田	ビークレバー
BVS	7	小2	岩澤み	小1	大澤	上進	小2	天智	ビークレバー
BVS	8	小2	岩澤み	小2	鈴木	上進	小2	山川	ビークレバー
BVS	9	小2	浅見	小2	岡村	上進	小2	中村	ビークレバー
BVS	10	小2	清水	小2	山田	上進	小2	坂本	ビークレバー
BVS	11	小2	小林	小2	越智	上進	小2	住吉	ビークレバー
BVS	12	小2	高橋	小2	中川	上進	小2	大澤	ビークレバー
BVS	13	小2	国府田	小2	水野	上進	小2	天智	ビークレバー
BVS	14	小2	太田	小2	林	上進	小2	岡田	ビークレバー
BVS	15	小2	村木	小2	雷岡	上進	小2	井原	ビークレバー
BVS	16	小2	藤川	小2	藤岡	上進	小2	岩原	ビークレバー
BVS	17	小3	堀江	小3	鈴木	退団	小3	峰本	うさぎ
CS	1	小3	堀江	小3	岩澤み	退団	小3	岡村	うさぎ
CS	2	小3	池田	小3	岩澤み	うさぎ	小3	山田	うさぎ
CS	3	小3	池田	小3	浅見	うさぎ	小3	越智	うさぎ
CS	4	小3	北田	小3	清水	うさぎ	小3	中川	うさぎ
CS	5	小3	岡村	小3	小林	うさぎ	小3	水野	うさぎ
CS	6	小3	大木	退団	高橋	退団	小3	菅野	うさぎ
CS	7	小4	大村	小4	国府田	うさぎ	小3	林	うさぎ
CS	8	小4	足田	小4	太田	うさぎ	小3	雷岡	うさぎ
CS	9	小4	長嶋	小4	藤川	うさぎ	小4	浅見	しか
CS	10	小4	池田	小4	堀江	しか	小4	清水	しか
CS	11	小4	高松	小4	堀江	しか	小4	小林	しか
CS	12	小4	高松	退団	池田	しか	小4	国府田	しか
CS	13	小4	黒崎	小4	北田	しか	小4	太田	しか
CS	14	小4	梅沢	小4	山下	しか	小4	藤川	しか
CS	15	小4	清水	小4	川島	しか	小5	堀江	くま
CS	16	小4	遠藤	小4	大村	上進	小5	堀江	くま
CS	17	小4	遠藤	小4	長田	退団	小5	池田	くま
CS	18	小4	秋山	退団	長嶋	退団	小5	北田	くま
CS	19	小5	土屋	退団	長嶋	上進	小5	山下	くま
CS	20	小5	田村	上進	鈴木	上進	小5	川島	くま
CS	21	小5	黒崎	上進	鈴木	上進	小5	細井	くま
CS	22	小5	奥津	上進	小林	上進	小5	細井	くま
CS	23	小5	堀田	上進	梅沢	上進	小5	清水	上進
CS	24	小5	大河内	上進	清水	上進	小5	清水	退団
CS	25	小5	玉川	退団	速藤	上進	小5	速藤	上進
CS	26	小5	田中	退団					
CS	27	小5	里	退団					
CS	28	小5	勝田	上進					

水道橋1団 登録状況の推移

		前々年度		前年度		当年度			
	年齢	氏名	登録状況	年齢	氏名	登録状況	年齢	氏名	登録状況
BS	1	小6	玉川	初級	小6	田村	初級	初級	初級
BS	2	小6	神田	初級	小6	黒崎	初級	初級	初級
BS	3	小6	藤原	退団	小6	奥津	2級	鈴木	初級
BS	4	小6	大河内	初級	小6	堀田	2級	黒崎	初級
BS	5	小6	山田	初級	小6	大河内	初級	小林	初級
BS	6	小6	永井	初級	小6	田中	初級	梅沢	初級
BS	7	小6	丸山	初級	小6	勝田	初級	速藤	初級
BS	8	中1	小林	初級	中1	黒崎	2級	黒崎	2級
BS	9	中1	落合	2級	中1	神田	2級	奥津	2級
BS	10	中1	阿部	退団	中1	大河内	2級	堀田	2級
BS	11	中1	木村	2級	中1	山田	初級	大河内	2級
BS	12	中1	渡辺	2級	中1	永井	2級	田中	2級
BS	13	中2	渡見	2級	中1	丸山	2級	玉川	1級
BS	14	中2	新井	2級	中2	小林	2級	神田	1級
BS	15	中2	吉村	1級	中2	落合	1級	大河内	2級
BS	16	中2	一柳	1級	中2	木村	1級	永井	2級
BS	17	中2	川名	2級	中2	渡辺	2級	丸山	1級
BS	18	中3	速藤	2級	中3	渡見	1級	落合	菊
BS	19	中3	阿部	1級	中3	新井	2級	木村	菊
BS	20	中3	吉田	1級	中3	吉村	菊	木村	菊
BS	21	中3	高松	1級	中3	一柳	菊	渡辺	菊
BS	22	中3	高松	1級	中3	川名	1級		
BS	23	中3	西田	1級	中3				
BS	24	中3	加藤	菊	中3				
VS	1	16歳	越智	VS	16歳	速藤	VS	速見	VS
VS	2	16歳	吉澤	VS	16歳	阿部	VS	新井	VS
VS	3	16歳	堀江	VS	16歳	小坪	VS	吉村	VS
VS	4	17歳	堀江	VS	16歳	吉田	VS	一柳	VS
VS	5	17歳	内田	VS	16歳	高松	VS	川名	VS
VS	6	17歳	加藤	VS	16歳	西田	VS	速藤	VS
VS	7	17歳	小林	VS	16歳	加藤	VS	阿部	VS
VS	8	17歳	平山	VS	17歳	小林	VS	小坪	VS
VS	9	17歳	関本	VS	17歳	越智	VS	吉田	VS
VS	10	18歳	佐藤	VS	17歳	太田	VS	高松	VS
VS	11	18歳	斎藤	VS	18歳	堀江	富士	西田	VS
VS	12	18歳	大谷	富士	18歳	内田	VS	加藤	VS
VS	13	18歳	石川	富士	18歳	加藤	VS	越智	富士
VS	14	18歳	宮下	VS	18歳	小林	VS	吉澤	富士
VS	15			VS	18歳	平山	富士	太田	VS
VS	16				18歳	関本	富士		
RS	1	19歳	赤羽		19歳	佐藤		堀江	
RS	2	19歳	浅子		19歳	内田	退団	内田	
RS	3	19歳	村山		19歳	斎藤		加藤	
RS	4	21歳	武藤		19歳	大谷		小林	
RS	5	21歳	堀山		19歳	石川			
RS	6	22歳	篠崎	退団	19歳	宮下	退団	平山	
RS	7	23歳	山本	副長	20歳	赤羽		関本	
RS	8	25歳	矢部	退団	20歳	浅子		佐藤	
RS	9	25歳	細田	退団	22歳	武藤	退団	大谷	
RS	10				22歳	堀山	退団	石川	
RS	11				24歳	山本	副長	浅子	
RS	12							村山	
RS	13							山本	副長
RS	S人数	91		89	86		25		111
RS	L人数	26		25	25		25		111
RS	合計	117		114	114		111		合計

水道橋第1回 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当	氏名	年齢	任期	研修課				
					海外役職等	その他	研修課		
司会員(兼)	全席	酒田正男	57	4	BS指導者	回遊賞	他定型1	他定型2	定型外3
副司会員(兼)	全席	前本一夫	59	2	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	15	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	大田勝子	53	14	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	8	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞

水道橋第2回 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当	氏名	年齢	任期	研修課				
					海外役職等	その他	研修課		
司会員(兼)	全席	米田五郎	67	18	BS指導者	回遊賞	他定型1	他定型2	定型外3
副司会員(兼)	全席	泉哲也	49	7	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	9	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	9	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	61	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	61	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞

水道橋第3回 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当	氏名	年齢	任期	研修課				
					海外役職等	その他	研修課		
司会員(兼)	全席	山本太郎	65	18	BS指導者	回遊賞	他定型1	他定型2	定型外3
副司会員(兼)	全席	山本太郎	65	18	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	65	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	65	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	65	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	65	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	65	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	65	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
司会員	全席	山本太郎	65	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞
副司会員	全席	山本太郎	65	10	BS委員	回遊賞	回遊賞	回遊賞	回遊賞

水道橋第3回 ボーイスカウト隊年間プログラム計画(前年4月~当年3月)

月	月間テーマ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間目標	新しい気持ちで	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹	春の息吹
	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等
	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等	手技技能等
班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班
	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班
	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班
隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団
	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団
	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団

※GB訓練は班長と次長が対象 ※この年間プログラムは3月に作成

水道橋第3回 ボーイスカウト隊年間計画実施状況(前年4月~当年3月)

月	実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班
	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班
	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班
隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団
	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団
	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団

※GB訓練は班長と次長が対象 ※この年間プログラムは3月に作成

S 6 団の現状把握のための資料（その3）

都祁地区の概要（当年4月1日）

※県連盟総登録数 指導者900人 RS120人 VS260人 BS600人 CS730人
BVS520人 合計 3130人

1. 地区所屬団 都祁第1団、第2団、第3団
2. 地区役員構成 地区協議会長 1、副会長 1、地区委員長 1、副委員長 1、組織拡張委員長 1、進歩委員長 1、指導者養成委員長 1、野営行事委員長 1、健康安全委員長 1、財政委員長 1、地区コミッションナー 1、地区副コミッションナー 2、団担当コミッションナー 1（現在地区コミが兼務のため、団訪問等は副コミが実施）

3. 地区協議会 年1回（地区総会を兼ねて開催） 出席率75%

4. 地区委員会 年6回（2ヶ月に1回開催） 地区役員＋各団団委員長（参席）
役員出席率 80% 団委員長出席率 90%

5. 指導者研修（定型訓練）の開催状況

県連主催
 ウッドバドバッジ研修所 BS 課程 年1コース
 ウッドバドバッジ研修所 CS 課程 年1コース
 ウッドバドバッジ研修所 VS 課程 隔年1コース
 ウッドバドバッジ研修所 BVS 課程 隔年1コース
 団運営研修所 3年ごとに1コース

地区主催
 指導者講習会 毎年1コース（他地区主催年4コース）
 ただし、前年度、当年度は参加者少なく中止した。

6. 指導者研修（定型外）の開催状況

県連盟主催
 野営法研修会（年2回）
 進歩研究会（各部門年1回）
 団運営研究会（年1回）
 技能研究会（年1回）
 各部門ラウンドテーブル（隊長、副長対象） 年2回
 VS 部門 出席率 100% 2団 50% 3団 0%
 BS 部門 出席率 100% 2団 50% 3団 0%
 CS 部門 出席率 100% 2団 50% 3団 0%
 BV 部門 出席率 100% 2団 50% 3団 0%

7. 県連盟主催行事
 県キャンポリー 4年に1回開催（3年前に開催された）
 スカウト展 隔年1回開催（前年に開催された）
 カブララー 4年に1回開催（2年前に開催された）

8. 近年の登録数の推移

都祁第1団						
	BVS	CS	BS	VS	RS	指導者
前々年	16	28	24	14	9	26
前年	15	25	22	16	11	25
当年	17	21	20	15	13	25

都祁第2団						
	BVS	CS	BS	VS	RS	指導者
前々年	6	14	8	4	2	15
前年	5	12	10	4	1	14
当年	3	12	8	2	0	15

都祁第3団						
	BVS	CS	BS	VS	RS	指導者
前々年	9	24	17	6	1	21
前年	12	22	14	7	2	14
当年	10	12	9	5	1	12

9. 広報活動

地区としては特に広報活動を実施していない

10. 地区及び各団の環境と概況

- (1) 県内で一番加盟員数の少ない地区。1小学校校区に1個団。
- (2) 第1団

町の中心街を活動エリアとしている。古い地域なので近所づきあい等も田舎風。それだけに相互扶助の気質あり。当地区の中心的存在の団。活動の場所が得にくいのが団全体の悩み。現在対象年齢児童の加盟比率は6%。

- (3) 第2団
 団委員会の開催状況：毎月1回定例（団会議1週間後）、団会議：毎月1回定例
- (4) 第3団

30年前、第1団から分封した。中心街を取り巻く住宅地域を主なエリアとしている。第3団のエリアと隣接している。古くからの住民と新しい住民が混在している。対象年齢児童は比較的少ない。現在対象年齢児童の加盟比率は4%。

- (4) 第3団
 団委員会の開催状況：随時（平成17年度実績は年3回）、団会議と合同

住宅開発により新しくできた分譲地周辺を基盤として、自治会が育成団体となり20年前に発出した。団委員長は自治会長が20年間務めている。分譲地第3世代がスカウト通齢期に差し掛かっており、対象年齢児童は比較的多い。現在対象年齢児童の加盟比率は4%。

団委員会の開催状況：随時（平成17年度実績は年5回）、団会議と合同
 ※対象年齢児童はBVS、CSの合計数をそれぞれの小学校校区1年生～6年生の生徒数で割って算出している。

都都第1団 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当	氏名	年齢	任期	海外役職等			研修歴				
					地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
団委員長	全職	池田正男	67	18	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	59	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	61	15	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	53	14	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	61	8	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	47	8	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	68	15	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	43	3	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	38	1	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	46	5	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	32	3	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	36	4	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	38	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	58	12	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	44	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	25	3	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	52	6	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	48	4	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	31	5	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	39	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	37	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	40	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	46	8	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	36	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3

都都第2団 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当	氏名	年齢	任期	海外役職等			研修歴				
					地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
団委員長	全職	池田一夫	67	18	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	49	6	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	63	10	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	55	15	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	54	8	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	49	7	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	53	10	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	32	1	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	22	0	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	62	12	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	40	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	41	1	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	39	1	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	54	12	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3

都都第3団 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当	氏名	年齢	任期	海外役職等			研修歴				
					地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
団委員長	全職	池田一夫	65	18	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	69	18	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	55	10	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	63	11	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	43	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	56	18	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	55	15	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	56	1	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	35	6	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	54	1	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	54	17	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	23	3	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3
副団委員長	全職	池田一夫	53	2	地区	他定型1	他定型2	他定型1	他定型2	他定型外1	他定型外2	他定型外3

世評、情報等(当年度5月頃)

1. 地区副コミッションナー(都都第1団所属)が、ある小学校のPTA関係者(都都第3団の地域に住む人)の、以下のような話を耳にした。

「ボーイスカウトは最近、ほとんど活動がないらしいですね。近所の小学校4年生の子のお母さんから聞いたのですけど、指導者が親子でやっていて、保護者が何も知らないうちに活動が中止になっていったんですって。もう辞めさせて、スポーツ少年団に入れようかなっておっしゃっていました」

2. 地区副コミッションナー(都都第1団所属)が、都都第3団のある団員から相談を受けた。

「私はあまりカブのことはわからないのですが、うちのカブ隊のプログラマってあれでいいんでしょうか？2ヶ月に1回程度遊園地や近くの公園にスカウトたちを連れて行ってるだけなんです。プログラムの打合せも親子でやってるから回りの保護者は何もわからないし・・・。前まではデンリダーがいたのですが、やってる意味がないって言って子どもといつしよに辞めてしまいました。このままでは団がつぶれてしまいます。え？組の活動ですか。全然ないです。団委員長ですか。何も言いませんよ。私も団委員長にこのままではダメになるって言うたんですけど、注意をして隊長に辞められたら大変だし、2ヶ月に1回活動があるんじゃないんですか・・・って、取り合ってもええじゃないんです。」

3. 地区副コミッションナー(都都第1団所属)が、都都第2団の団員を訪問したときの話(地区副コミッションナーに報告)。

「都都第2団の団員を訪問してきました。今年はスカウト募集はしないそうです。理由は去年兄弟で2人入団したし、これ以上スカウトが増えたら指導者が大変だからって・・・。びーばー隊長は団員との兼任だから忙しいし、カブ隊長は『もう私も年だからね、カハハハ！』って笑って終わりましたよ。団委員長や他の団員も『そうですよねー』なんて言うてました。

どうすればいいんでしょうね？」

4. 都都第1団の団員会での一コマ
池田団委員長「みなさん、団や地区の活動でいつもご苦労をおかけしています。わが団もここ3年はスカウト数が微減傾向ですね。隊指導者のみなさんは一生懸命なのですが、やはりスカウトが1人でも辞めていくのは指導者にとってはつらいものです。団委員のみなさんは、話のできる保護者に何か不満などはないか、期待することはないかそれぞれ立場で尋ねていただけたらませんか？隊長さんたちの気つかない問題が何かあるかもしれません・・・」

登録審査自己診断報告書 (No. 1-a)

団 審 査 用

都 郡 地 区 都 郡 第 3 団 前 年 3 月 報 告

団 委 員 長 氏 名 : 川 島 陽 一
記 入 者 氏 名 : 大 山 史 郎

(役 務) 副 団 委 員 長

諸帳簿の整備状況 (該当記号を記入)	完備している ○ ない・未作成 ×
規 約 (会 則)	○
育 成 会 員 名 簿 (会 員 5 1 名)	○
事 業 計 画 ・ 報 告 ・ 予 算 ・ 決 算	○
諸 会 議 録	×
会 計 帳 簿	○
団 規 約	○
団 委 員 会 名 簿 ・ 役 務 分 掌	△
団 委 員 ・ 指 導 者 個 人 記 録 簿	×
事 業 計 画 ・ 報 告 ・ 予 算 ・ 決 算	○
会 計 帳 簿	○
備 品 台 帳	×
諸 会 議 録	×

★ 新年度登録申請人数 (主登録人数記載)
 団委員長 1名 (内女性 名)
 副団委員長 2名 (内女性 名)
 団 委 員 5名 (内女性 1名)
 育成会長 名 (内女性 名)
 育成会副会長 名 (内女性 名)
 育成会 員 名 (内女性 名)
 スカウトクラブ 会 員 名 (内女性 名)
 合 計 8名 (内女性 1名)
 前年3月登録数との比較 (+・○) 7名

★ 前年3月登録時以降の増減内訳 (主登録人数)
 新規入団者 + 名 (内女性 名)
 隊指導者から + 名 (内女性 名)
 スカウトから + 名 (内女性 名)
 隊指導者へ - 名 (内女性 名)
 スカウトクラブ員へ - 名 (内女性 名)
 退 団 者 - 7名 (内女性 2名)
 増 減 計 (+・○) 7名

★ 最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

★ 会議の開催状況

指導者講習会修了者	(1 名)
研 修 所 修 了 者	(1 名)
養 成 所 修 了 者	(名)
成 団 運 営 研 修 所 修 了 者	(名)
進 歩 章 取 得 者	(名)
歩 富士章取得者	(名)

育成会 (総会および役員会) 1 回
 団 委 員 会 回
 団 会 議 回
 団 委 員 会 ・ 団 会 議 合 同 開 催 4 回
 ・ 合同会議のほか、に団委員会 (定例・適宜) 開催 (○印)

★ 団行事 (特記すべき行事を自由に記載)

地区コミュニケーション閲覧 (署名)
 審査日時 前年 月 日 氏 名

登録審査自己診断報告書 (No. 2)

ビーバースカウト 隊 用

都 郡 地 区 都 郡 第 3 団 前 年 3 月 報 告

隊 長 氏 名 : 峰 山 薫
記 入 者 氏 名 : 峰 山 薫

(役 務) 隊 長

諸帳簿の整備状況 (該当記号を記入)	完備している ○ ない・未作成 ×
隊指導者・隊員名簿	○
個人記録簿	×
年間プログラム	○
隊集会、隊活動記録	○
リーダー会議記録	×
隊会計帳簿	○
隊備品帳簿	×
進歩記録簿	×
退 団 者	- 1名 (内女性 名)
増 減 計 (+・○) 3名	

★ 新年度登録申請人数 (主登録人数記載)
 指導者 1名 (内女性 名)
 隊 員 12名 (内女性 名)
 合 計 13名 (内女性 名)
 前年3月登録数との比較 (+・○) 3名

★ 新年度隊員登録申請者について
 仮入隊 名 (内女性 名)
 ビーバー 8名 (内女性 名)
 ビッグビーバー 4名 (内女性 名)
 合 計 12名 (内女性 名)

★ 前年3月登録時以降の隊員数の増減内訳
 新規入隊者 + 8名 (内女性 名)
 CSへの上進者 - 4名 (内女性 名)
 退 団 者 - 1名 (内女性 名)
 増 減 計 (+・○) 3名

その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください

最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

★ 主な奉仕活動

隊集会	14回 (内容に拘らず全て計上)
そのうち	
ピクニック	2回
舎営訓練	0回
延べ	泊

地区コミュニケーション閲覧 (署名)
 審査日時 前年 月 日 氏 名

登録審査自己診断報告書 (No. 3)

カブスカウト 隊 用

都 郡 地 区 都 郡 第 3 団

前 年 3 月 報 告

隊 長 氏 名 : 溝端 紀子
記 入 者 氏 名 : 溝端 昇

(役 務) 副 長

諸帳簿の整備状況 (該当記号を記入)	
完備している …………… ○	
ない・未作成 …………… ×	
指導者 3名 (内女性 2名)	
隊 員 22名 (内女性 名)	
合 計 25名 (内女性 名)	
前年3月登録数との比較 (+・○)	5名
★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)	
指導者 3名 (内女性 名)	
隊 員 22名 (内女性 名)	
合 計 25名 (内女性 名)	
前年3月登録数との比較 (+・○)	5名
★新年度隊員登録申請者について	
り す 名 (内女性 名)	
う さ ぎ 4名 (内女性 名)	
し か 6名 (内女性 名)	
く ま 12名 (内女性 名)	
合 計 22名 (内女性 名)	
★前年3月登録時以降の隊員数の増減内訳	
BVSからの上進者 + 4名 (内女性 名)	
新規入隊者 + 0名 (内女性 名)	
BSへの上進者 - 5名 (内女性 名)	
退 団 者 - 1名 (内女性 名)	
増 減 計 (+・○)	2名
その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください	
隊指導者・隊員名簿 ○	
個人記録簿 △	
年間プログラム ○	
隊集会、隊活動記録 ×	
リーダー会議記録 ×	
隊会計帳簿 ○	
隊備品帳簿 ○	
進歩記録簿 ○	
組集会記録 ×	

最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

★主な奉仕活動

★主な活動記録 (年間合計)

隊集会 8回 (内容に拘らず全て計上)
そのうち舎堂、キャンプ、ハイクについて
舎営訓練 1回 延べ 1泊
テント利用 0回 延べ 泊
ハイク 2回
組集会 2回 (組平均)

地区コミッションナワー閲覧 (署名)
審査日時 前年 月 日 氏 名

登録審査自己診断報告書 (No. 4)

ボーイスカウト 隊 用

都 郡 地 区 都 郡 第 3 団

前 年 3 月 報 告

隊 長 氏 名 : 井畑洋二
記 入 者 氏 名 : 井畑洋二

(役 務) 隊 長

諸帳簿の整備状況 (該当記号を記入)	
完備している …………… ○	
ない・未作成 …………… ×	
指導者 3名 (内女性 名)	
隊 員 14名 (内女性 名)	
合 計 17名 (内女性 名)	
前年3月登録数との比較 (+・○)	3名
★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)	
指導者 3名 (内女性 名)	
隊 員 14名 (内女性 名)	
合 計 17名 (内女性 名)	
前年3月登録数との比較 (+・○)	3名
★新年度隊員登録申請者について	
ボーイスカウト 名 (内女性 名)	
初級スカウト 12名 (内女性 名)	
2級スカウト 1名 (内女性 名)	
1級スカウト 1名 (内女性 名)	
菊スカウト 名 (内女性 名)	
合 計 14名 (内女性 名)	
★前年3月登録時以降の増減内訳	
C Sからの上進者 + 5名 (内女性 名)	
新規入隊者 + 0名 (内女性 名)	
VSへの上進者 - 3名 (内女性 名)	
退 団 者 - 5名 (内女性 名)	
増 減 計 (+・○)	3名
その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください	
隊指導者・隊員名簿 ○	
個人記録簿 ×	
年間プログラム ○	
隊集会、隊活動記録 △	
リーダー会議記録 ×	
隊会計帳簿 ○	
隊備品帳簿 ×	
進歩記録簿、面接記録 ×	
班集会、班会議録 ×	
GB集会、訓練記録 ○	

最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

★主な奉仕活動

★主な活動記録 (年間合計)

面接会 0回
隊集会 8回 (内容に拘らず全て計上)
そのうち宿泊を伴う野営訓練
隊集会 3回 延べ 5泊
GB集会 6回
班集会 3回 (1個班平均)
うち班野営 0回 延べ 0泊

地区コミッションナワー閲覧 (署名)
審査日時 前年 月 日 氏 名

登録審査自己診断報告書 (No. 5)

ベンチヤースカウト 隊 用

都 郡 地区 都 郡 第 3 団

前年 3 月 報告

隊長氏名 : 西川邦夫
 記入者氏名 : 西川邦夫 (役員) 隊長

諸帳簿の整備状況(該当記号を記入)	
完備している …………… ○	
ない・未作成 …………… ×	
隊指導者・隊員名簿	○
個人記録簿(指導者・隊員)	○
年間プログラム・プロジェクト計画	○
活動記録	○
ベンチャー隊会議・運営会議記録	×
会計帳簿類	○
隊備品帳簿	○
ベンチャープロジェクト関係記録	○
その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください	

最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

★主なプロジェクト
 いかだづくり

★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)	指導者	1名 (内女性 名)
	隊員	7名 (内女子 名)
	合計	8名 (内女性 名)
	前年3月登録数との比較	(+)・(-) 1名
★新年度隊員登録申請者について	ベンチヤースカウト	7名 (内女性 名)
	ベンチャー富士スカウト	0名 (内女性 名)
	合計	7名 (内女性 名)
	うち18歳以上	0名 (内女性 名)
★前年3月登録時以降の隊員数の増減内訳	BSからの上進者	+ 3名 (内女性 名)
	新規入隊者	+ 0名 (内女性 名)
	RSへの上進者	- 1名 (内女性 名)
	リーダー登録者	- 名 (内女性 名)
	退 団 者	- 1名 (内女性 名)
	増 減 計	(+)・(-) 1名

★奉仕活動 (特記すべき活動を自由に記載)
 カーブミラー清掃

地区コミュニケーション閲覧(署名)
 審査日時 前年 月 日 氏名

登録審査自己診断報告書 (No. 6)

ローバースカウト 隊 用

都 郡 地区 都 郡 第 3 団

前年 3 月 報告

隊長氏名 :
 記入者氏名 : 川島洋二 (役員) 団委員長

諸帳簿の整備状況(該当記号を記入)	
完備している …………… ○	
ない・未作成 …………… ×	
隊指導者・隊員名簿	○
個人記録簿(指導者・隊員)	×
年間プログラム・プロジェクト計画	×
隊活動記録・集合訓練記録	×
隊会議記録	×
隊会計帳簿類	○
隊備品帳簿	○
委員会記録	×
個人プロジェクト記録	×
その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください	

最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

★主な活動内容
 BS隊キャンプ奉仕

★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)	指導者	0名 (内女性 名)
	隊員	2名 (内女性 名)
	合計	2名 (内女性 名)
	前年3月登録数との比較	(+)・(-) 1名
★新年度隊員登録申請者について	見習ローバー	名 (内女性 名)
	ローバー	2名 (内女性 名)
	合計	2名 (内女性 名)
	うち20歳未満	1名 (内女性 名)
★前年3月登録時以降の隊員数の増減内訳	VSからの上進者	+ 1名 (内女性 名)
	新規入隊者	+ 名 (内女性 名)
	リーダー登録者	- 名 (内女性 名)
	退 団 者	- 名 (内女性 名)
	増 減 計	(+)・(-) 1名

★奉仕活動
 同上

地区コミュニケーション閲覧(署名)
 審査日時 前年 月 日 氏名

団審査申込書

当年 3月 8日

日本ボーイスカウト〇〇連盟

都祁 地区 団審査会殿

ボーイスカウト日本連盟 次年度の（継続）登録を申請しますので、団審査を受けたく、下記のように申込みます。

記

1. 団の出席（予定）者氏名

団	氏名	（役務）	（役務）
川島陽一	西川邦夫	（団委員長）	（ 役 務 ）
大山史郎	井畑洋二	（副団委員長）	VS隊長
	溝端昇		BS隊長
	峰山薫		CS副長
			BVS隊長

2. 加盟申請の内容（主登録人数）

区分	隊数	指導者数	スカウト数	計	昨年3月	増 減
団委員・育成会員	1	6	6	6	6	0
ビーバー	1	1	10	11	13	-2
カブ	1	2	12	14	25	-11
ボーイ	1	2	9	11	17	-6
ベンチャー	1	1	5	6	8	-2
ローパー	1	0	1	1	2	-1
スカウトクラブ	1					
合計	5 隊	12	37	49	71	-22

日本ボーイスカウト

都祁

第 3 団

地区コミッション一覧（署名）

審査日時 当年 月 日

氏 名

登録審査自己診断報告書 (No. 1-1-a)

団 審 査 用

都祁 地区 都祁 第 3 団

当年 3 月 報告

団委員長氏名：川島陽一

記入者 氏名：大山史郎

（役務） 副団委員長

諸帳簿の整備状況（該当記号を記入）

完備している …………… ○
ない・未作成 …………… ×

規約（会則）	○
育成会簿（会員 35名）	○
事業計画・報告、予算・決算	○
諸会議録	×
会計帳簿	○
団規約	○
団委員会名簿、役務分掌	△
団委員・指導者 個人記録簿	×
事業計画・報告、予算・決算	○
会計帳簿	○
備品台帳	×
諸会議録	×

★新年度登録申請人数（主登録人数記載）

団委員長	1名	(内女性)	名
副団委員長	2名	(内女性)	名
団委員	3名	(内女性)	名
育成会会長	名	(内女性)	名
育成会副会長	名	(内女性)	名
育成会会員	名	(内女性)	名
スカウトクラブ会員	名	(内女性)	名
合計	6名	(内女性)	名
前年3月登録数との比較	(+・-)	0名	

★前年3月登録時以降の増減内訳（主登録人数）

新規入団者	+	名	(内女性)	名
隊指導者から	+	名	(内女性)	名
スカウトから	+	名	(内女性)	名
隊指導者へ	-	名	(内女性)	名
スカウトへ	-	名	(内女性)	名
退 団 者	-	名	(内女性)	名
増 減 計(+・-)				

★最近一年間の記録（昨年3月以降～本年2月）により記入してください

指導者講習会修了者	(名)
研 修 所 修 了 者	(名)
実 修 所 修 了 者	(名)
団運営研修所修了者	(名)
進 菊 章 取 得 者	(名)
歩 富士章 取 得 者	(名)

★会議の開催状況

育成会（総会および役員会）	1 回
団 委 員 会	回
団 会 議	回
団委員会・団会議 合同開催	5 回
・合同会議のほかは他に団委員会（定例・適宜）開催	

★団行事（特記すべき行事を自由に記載）

（○印）

（合同会議のみ）

登録審査自己診断報告書 (No. 2)

ビーバースカウト 隊用

都祁 地区 都祁 第 3 団

隊長氏名 : 峰山薫

記入者氏名 : 峰山薫

(役務) 隊長

当年3月

諸帳簿の整備状況(該当記号を記入)	
完備している …………… ○	
ない・未作成 …………… ×	
隊指導者・隊員名簿	○
個人記録簿	×
年間プログラム	○
隊集会、隊活動記録	○
リーダー会議記録	×
隊会計帳簿	○
隊備品帳簿	×
進歩記録簿	×
その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください	

★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)
 指導者 1名 (内女性 名)
 隊員 10名 (内女子 名)
 合計 11名 (内女子 名)
 前年3月登録数との比較 (+・○) 2名

★新年度隊員登録申請者について
 仮入隊 名 (内女子 名)
 ビーバー 4名 (内女子 名)
 ビッグビーバー 6名 (内女子 名)
 合計 10名 (内女子 名)

★前年3月登録時以降の隊員数の増減内訳
 新規入隊者 + 4名 (内女子 名)
 CSへの上進者 - 3名 (内女子 名)
 退団者 - 3名 (内女子 名)
 増減計 (+・○) 2名

★主な活動記録 (年間合計)
 隊集会 12回 (内容に拘らず全て計上)
 そのうち
 ビクニック 3回
 舎営訓練 0回 延べ 泊

地区コミッションオーナー閲覧(署名) 氏名 日 月 年
 審査日時 氏名

登録審査自己診断報告書 (No. 3)

カブスカウト 隊用

都祁 地区 都祁 第 3 団

隊長氏名 : 溝端紀子

記入者氏名 : 溝端昇

(役務) 副長

当年3月

諸帳簿の整備状況(該当記号を記入)	
完備している …………… ○	
ない・未作成 …………… ×	
隊指導者・隊員名簿	○
個人記録簿	△
年間プログラム	○
隊集会、隊活動記録	×
リーダー会議記録	×
隊会計帳簿	○
隊備品帳簿	○
進歩記録簿	○
組集会記録	×
その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください	

★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)
 指導者 2名 (内女性 名)
 隊員 12名 (内女子 名)
 合計 14名 (内女子 名)
 前年3月登録数との比較 (+・○) 11名

★新年度隊員登録申請者について
 りす 名 (内女子 名)
 うさぎ 3名 (内女子 名)
 しか 4名 (内女子 名)
 くま 5名 (内女子 名)
 合計 12名 (内女子 名)

★前年3月登録時以降の隊員数の増減内訳
 BVSからの上進者 + 3名 (内女子 名)
 新規入隊者 + 0名 (内女子 名)
 BSへの上進者 - 2名 (内女子 名)
 退団者 - 11名 (内女子 名)
 増減計 (+・○) 10名

★主な活動記録 (年間合計)
 隊集会 5回 (内容に拘らず全て計上)
 そのうち舎営、キャンプ、ハイクについて
 舎営訓練 1回 延べ 1泊
 テント利用 0回 延べ 0泊
 ハイク 2回
 組集会 0回 (組平均)

最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

★主な奉仕活動

地区コミッションオーナー閲覧(署名) 氏名 日 月 年
 審査日時 氏名

登録審査自己診断報告書 (No. 4)

ボーイスカウト 隊用

都祁 地区 都祁 第 3 団

当年3月

隊長氏名 : 井畑洋二
記入者氏名 : 井畑洋二

(役務) 隊長

諸帳簿の整備状況(該当記号を記入)	
完備している …………… ○	
ない・未作成 …………… ×	
指導者・隊員名簿	○
個人記録簿	×
年間プログラム	○
隊集会、隊活動記録	△
リーダー会議記録	×
隊会計帳簿	○
隊用品帳簿	×
進歩記録簿、面接記録	×
班集会、班会議録	×
GB集会、訓練記録	○
その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください	

★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)
指導者 2名 (内女性 名)
隊員 9名 (内女子 名)
合計 11名 (内女性 名)
前年3月登録数との比較 (+・-) 6名

★新年度隊員登録申請者について
ボーイスカウト 名 (内女子 名)
初級スカウト 7名 (内女子 名)
2級スカウト 2名 (内女子 名)
1級スカウト 0名 (内女子 名)
菊スカウト 名 (内女子 名)
合計 9名 (内女子 名)

★前年3月登録時以降の増減内訳
CSからの上進者 + 2名 (内女子 名)
新規入隊者 + 0名 (内女子 名)
VSへの上進者 - 0名 (内女子 名)
退団者 - 7名 (内女子 名)
増減計 (+・-) 5名

★主な活動記録 (年間合計)
面接会 1回
隊集会 7回 (内容に拘らず全て計上)
そのうち宿泊を伴う野営訓練 延べ 3泊
隊集会 2回
GB集会 5回
班集会 1回 (1個班平均)
うち班野営 0回 延べ 泊

地区コミッションリーダー閲覧(署名)
審査日時 当年 月 日 氏名

登録審査自己診断報告書 (No. 5)

ベンチャースカウト 隊用

都祁 地区 都祁 第 3 団

当年3月

隊長氏名 : 西川邦夫
記入者氏名 : 西川邦夫

(役務) 隊長

諸帳簿の整備状況(該当記号を記入)	
完備している …………… ○	
ない・未作成 …………… ×	
指導者・隊員名簿	○
個人記録簿(指導者・隊員)	○
年間プログラム・プロジェクト計画	○
活動記録	○
ベンチャー隊会議・運営会議記録	○
会計帳簿類	○
隊用品帳簿	○
ベンチャープロジェクト関係記録	○
その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください	

★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)
指導者 1名 (内女性 名)
隊員 5名 (内女子 名)
合計 6名 (内女性 名)
前年3月登録数との比較 (+・-) 2名

★新年度隊員登録申請者について
ベンチャースカウト 5名 (内女性 名)
ベンチャー富士スカウト 名 (内女性 名)
合計 5名 (内女性 名)
うち18歳以上 0名 (内女性 名)

★前年3月登録時以降の隊員数の増減内訳
BSからの上進者 + 0名 (内女性 名)
新規入隊者 + 0名 (内女性 名)
RSへの上進者 - 0名 (内女性 名)
リーダー登録者 - 名 (内女性 名)
退団者 - 2名 (内女性 名)
増減計 (+・-) 2名

★主な活動記録 (特記すべき活動を自由に記載)
CS隊1泊舎営 炊事奉仕
文化財探訪

★最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

地区コミッションリーダー閲覧(署名)
審査日時 当年 月 日 氏名

登録審査自己診断報告書 (No. 6)

ローバースカウト 隊 用

都 都 都 都 都 都 都 都 都 都

当年3月

川島陽一 (役員) 団委員長

諸帳簿の整備状況(該当記号を記入)

指導者	0名 (内女性 名)
隊員	1名 (内女性 名)
合計	1名 (内女性 名)
前年3月登録数との比較	(+・○)

★新年度登録申請人数 (主登録人数記載)

★新年度隊員登録申請者について

見習ローバー	名 (内女性 名)
ローバー	1名 (内女性 名)
合計	1名 (内女性 名)
うち20歳未満	1名 (内女性 名)

★前年3月登録時以降の隊員数の増減内訳

V Sからの上進者	+ 0名 (内女性 名)
新規入隊者	+ 0名 (内女性 名)
リーダー登録者	- 0名 (内女性 名)
退 団 者	- 1名 (内女性 名)
増 減 計	(+・○) 1名

その他 隊で備えている記録簿などがあれば、上記空欄に記入してください

最近一年間の記録 (昨年3月以降～本年2月) により記入してください

★主な活動内容

BS隊キャンブ奉仕

★奉仕活動
同上

地区	都 都 都 都 都 都 都 都 都 都
日時	当 年 月 日
氏名	川 島 陽 一

都都第3団 カブスカウト隊年間プログラム計画 (前年4月～当年3月)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間テーマ	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く
月間目標	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く	新しい仲間と仲良く
組												
隊												
組長兼隊長												
団												
地区等												

※組長兼隊長は組長が対応 ※この年間プログラムは3週編成(春プロ作成時点)

都都第3団カブスカウト隊 年間計画実施状況 (前年4月～当年3月)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
組												
隊												
組長兼隊長												
団												
地区等												

※この年間プログラムは3週編成(春プロ作成時点)

都第3団 ボーイスカウト隊年間プログラム計画(前年4月～当年3月)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間テーマ	新たな気持ちで	通信とつながり	フロンティア	夏季野営に向けて	技術と精神の成長	秋の収穫	山歩き	他の人のために	結ぶの達人	思い出を創る	春の息吹	
月間目標	手技技能等 節りの技能	節りの技能	手技技能等 節りの技能	手技技能等 節りの技能	手技技能等 節りの技能	観察と推理	体力づくり	奉仕活動	ロープ技術	おきてを守る	キャンプ技能	
班	上進式(11日)	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	
課	上進式(11日)	仕掛け作り	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	
GB訓練	上進式(11日)	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	
団	上進式(11日)	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	班集会	
地区等	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	

※GB訓練は班長と次長が対象 ※隊は2種班編成 ※この年間プログラムは前年8月に作成

都第3団 ボーイスカウト隊 年間計画実施状況(前年4月～当年3月)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動状況	上進式参加 実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし
課	上進式参加 実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし
GB訓練	上進式参加 実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし
団	上進式参加 実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし	隊集会実施予定なし
地区等	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会	地区総会

※GB訓練は班長と次長が対象 ※隊は2種班編成 ※この年間プログラムは前年8月に作成

コミッショナー研修所
所員用ハンドブック（2019年度版）

2019年2月20日発行



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

〒167-0022

東京都杉並区下井草4-4-3

電話：03-6913-6262

ファックス：03-6913-6263

e-mail：training@scout.or.jp
